

景気動向調査結果

(令和5年7月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業））を対象に、令和 5 年 7 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、令和 5 年 8 月にヒアリング又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更し、平成 29 年度の調査から、小売業と卸売業、飲食業と宿泊業を分けて結果を発表しています。

回答企業数は、438 社（製造業 231 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 207 社）で、回答率は 62.6 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2925）

非製造業について

長野県産業労働部経営・創業支援課（TEL 026-232-0111 内線 2961）

令和5年7月の景気動向

1 総論

長野県経済は、エネルギー・原材料価格高騰等の影響により依然として厳しい状況が続き、回復に向けた動きに一服感がみられます。

製造業の業況は、自動車関連の一部に需要の回復がみられるものの、継続するエネルギー・原材料価格の高騰等により収益率に低下がみられるとともに、中国経済の減速の影響等により電機・電子及び機械などで受注、生産に弱さがみられ、製造業全体では5期連続でマイナス水準となりました。

非製造業の業況は、建設業、卸売業で受注が厳しい状況によりマイナス水準となったものの、小売業、飲食業、宿泊業で1年前のコロナ禍の状況に比べて需要が増加したためプラス水準となり、全体では2期連続のプラス水準となりました。

2 製造業

(1) 業界の業況

前年同期（令和4年7月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は $\Delta 31.1$ となり、前回調査時（令和5年4月）の $\Delta 29.9$ から1.2ポイント悪化しました。

3か月前（令和5年4月）と比較したD Iは $\Delta 19.2$ となり、前回調査時の $\Delta 17.4$ より1.8ポイント悪化し、7期連続のマイナス水準となりました。

また、3か月後（令和5年10月）の予想では、D Iは $\Delta 13.7$ となり、6期連続のマイナス水準となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコンは、法人向け需要の増加により、受注、生産が堅調に推移しています。プリンターは、在宅需要が牽引し、受注、生産が堅調に推移しています。半導体関連は、E V向けでは、受注、生産が好調に推移しているものの、スマートフォン、P C向けでは需要の減少により、受注、生産に弱さがみられます。抵抗器・コンデンサ等は、情報通信向け、産業用機械向け、自動車関連向けで、国内外での需要の減退等に伴い、受注、生産が弱含んでいます。

イ 一般機械では、工作機械は、半導体関連需要の減速の影響等により、受注、生産に一服感がみられます。建設機械は、部材の供給制約の緩和に伴い、生産、販売に増加がみられます。

ウ 精密では、時計は、国内向けでは、インバウンドの回復等による需要の増加に伴い、販売量に持ち直しがみられる一方、海外向けでは、景気後退による需要の減少により、受注、生産ともに一服感がみられます。レンズは、自動車の生産回復に伴い、自動車関連向けで受注に持ち直しがみられる一方、映像関連向けでの需要の減少により、生産に足踏みがみられます。圧力計は、半導体関連や建設機械関連向けを中心に、受注、生産が順調に推移しています。L Pガスマーターは、ガス用I o T関連機器がけん引し、受注、生産が堅調に推移しています。

エ 自動車部品では、半導体の供給制約の緩和等により、新車販売台数が復調傾向にあることから、受注、生産に持ち直しがみられます。

オ 食料品では、味そは、季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が減少しています。酒類は、清酒は、消費イベントの再開等により、受注、生産に持ち直しがみられます。飲料は、季節的要因やインバウンドの回復等により、受注、生産が増加しています。

(2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が20.8%と前回(21.9%)より減少し、「減少」とする企業が53.1%と前回(47.4%)より増加した結果、DIは前回(△25.5)より悪化し、△32.3となりました。

3ヵ月前との比較では、「増加」とする企業が15.5%と前回(21.0%)より減少し、「減少」とする企業が37.6%と前回(29.7%)より増加した結果、DIは前回(△8.7)より悪化し、△22.1となりました。

3ヵ月後の予想については、「増加」とする企業は16.5%、「減少」とする企業が25.4%となった結果、DIは△8.9となりました。

(3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が23.6%と前回(22.1%)より増加し、「減少」とする企業が50.2%と前回(45.1%)より増加した結果、DIは前回(△23.0)より悪化し、△26.6となりました。

3ヵ月前との比較では、「増加」とする企業が19.6%と前回(21.6%)より減少し、「減少」とする企業が37.8%と前回(33.0%)より増加した結果、DIは前回(△11.4)より悪化し、△18.2となりました。

3ヵ月後の予想については、「増加」とする企業が20.5%、「減少」とする企業が26.3%となった結果、DIは△5.8となりました。

(4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が54.2%と前回(53.1%)より増加し、「安い」とする企業が7.5%と前回(7.5%)と同じとなった結果、DIは前回(45.6)より改善し、46.7となりました。

3ヵ月前との比較では、「高い」とする企業が22.7%と前回(26.2%)より減少し、「安い」とする企業が6.2%と前回(4.8%)より増加した結果、DIは前回(21.4)より悪化し、16.5となりました。

3ヵ月後の予想については、「高い」とする企業が14.3%、「安い」とする企業が2.7%となった結果、DIは11.6となりました。

(5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が9.1%と前回(6.8%)より増加し、「苦しい」とする企業が22.8%と前回(21.5%)と増加した結果、DIは前回(△14.7)より改善し、△13.7となりました。

3ヵ月前との比較では、「らく」とする企業が6.8%と前回(6.8%)と同じとなり、「苦しい」とする企業が16.0%と前回(16.4%)とほぼ同じとなった結果、DIは前回(△9.6)とほぼ同じ、△9.2となりました。

3ヵ月後の予想については、「らく」とする企業が5.1%、「苦しい」とする企業が17.1%となった結果、DIは△12.0となりました。

(6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が16.0%と前回(10.9%)より増加し、「低下」とする企業が50.7%と前回(55.5%)より減少した結果、DIは前回(△44.6)より改善し、△34.7となりました。

3ヵ月前との比較では、「上昇」とする企業が11.9%と前回(10.9%)より増加し、「低下」とする企業が31.3%と前回(39.6%)より減少した結果、DIは前回(△28.7)より改善し、△19.4となりました。

3ヵ月後の予想については、「上昇」とする企業が7.2%、「低下」とする企業が26.5%となった結果、DIは△19.3となりました。

(7) 製造業の業種別動向

電機・電子

(コンピュータ・情報機器) パソコンは、法人向け需要の増加により、受注、生産が堅調に推移しています。プリンターは、在宅需要が牽引し、受注、生産が堅調に推移しています。

(半導体関連・プリント基板) 半導体関連は、EV向けでは、受注、生産が好調に推移しているものの、スマートフォン、PC向けでは需要の減少により、受注、生産に弱さがみられます。

(抵抗器・コンデンサ等) 抵抗器・コンデンサ等は、情報通信向け、産業用機械向け、自動車関連向けで、国内外での需要の減退等に伴い、受注、生産が弱含んでいます。

(モーター等) 産業用ロボット向けは、中国での需要減少の影響等により、受注、生産に弱さがみられます。航空機向けは、航空機需要の回復により、受注、生産に持ち直しがみられます。

(その他) 車載部品（カーナビゲーション、カーオーディオ）は、国内の新車販売の増加により、生産、販売が堅調に推移しています。

一般機械

(工作機械) 工作機械は、半導体関連製品の需要減速の影響等により、受注、生産に一服感がみられます。

(金型) 産業用機械は、受注、生産が好調に推移している一方、自動車関連向けは、受注、生産に一服感がみられます。

(建設機械) 建設機械は、国内向け、海外向けともに受注が好調に推移していることに加え、部材の供給制約の緩和に伴い、生産、販売に増加がみられます。

(農業用機械等) 農業用機械等は、国内向けで、コスト高騰に伴う機械購入の需要減少等により、受注、販売は減少しています。

精 密

(時 計)

時計は、国内向けでは、インバウンドの回復等による需要の増加に伴い、販売量に持ち直しがみられる一方、海外向けでは、景気後退による需要の減少により、受注、生産ともに一服感がみられます。

(レ ン ズ)

レンズは、自動車の生産回復に伴い、自動車関連向けで受注に持ち直しがみられる一方、映像関連向けでの需要の減少により、生産に足踏みがみられます。

(計 器)

圧力計は、半導体関連や建設機械関連向けを中心に、受注、生産が順調に推移しています。LPガスメーターは、ガス用IoT関連機器がけん引し、受注、生産が堅調に推移しています。

自 動 車 部 品

半導体の供給制約の緩和等により、新車販売台数が復調傾向にあることから、受注、生産に持ち直しがみられます。

食 料 品

(味 そ)

味そは、季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が減少しています。

(酒 類)

清酒は、消費イベントの再開等により、受注、生産に持ち直しがみられます。

(飲 料)

季節的要因やインバウンドの回復等により、受注、生産が増加しています。

織 維 ・ 衣 服

外出機会の増加等により、受注、生産が増加しています。

紙 ・ パ ル プ

ダンボールは、農産物向け等で、受注、生産が順調に推移しています。

印 刷

印刷・製本は、季節的要因により、受注、生産が増加しているものの、印刷・製本の需要の低迷などにより、引き続き低調に推移しています。

そ の 他

プラスチック成型部品は、産業用機械向けで、受注、生産が堅調に推移しています。

3 非製造業

業界の業況

前年同期（令和4年7月）と比較したD Iは13.1となり、前回調査時（令和5年4月）の12.7より0.4ポイント改善し、2期連続のプラス水準となりました。

3か月前（令和5年4月）と比較したD Iは11.7となり、前回調査時の16.3より4.6ポイント悪化しました。

また、3か月後（令和5年10月）の予想では、D Iは△4.2となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 建設業

建設業では、資材価格の高止まりや人手不足による影響により、売上高D I、受注件数D I、収益率D Iが低調に推移し、業況D Iは△8.6と前回（△33.4）より改善したものの、マイナス水準が続いています。

3か月後の業況D Iは、△3.0です。

イ 情報サービス業

情報サービス業では、公共関連、民間企業ともに需要は底堅いものの、技術者などの人手不足や人件費などのコスト上昇により、売上高D I、収益率D Iが悪化したことから、業況D Iは12.5と前回（55.6）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、0.0です。

ウ 小売業

小売業では、仕入価格上昇などに伴い収益率D Iがやや悪化したものの、販売価格D Iがプラス水準を維持したほか、前回調査に比べ売上高D I、客数D Iが改善したことから、業況D Iは5.8と前回（0.0）より改善し、令和3年4月調査以来のプラス水準となりました。

3か月後の業況D Iは、△9.2です。

エ 卸売業

卸売業では、仕入価格の上昇が続く中、販売価格据え置きなど一部で価格転嫁に遅れがみられたほか、人手不足や物流コスト上昇などの影響による売上高D I、客数D I及び販売価格D Iの悪化に伴い、収益率D Iが悪化したことから、業況D Iは△21.0と前回（23.6）より大幅に悪化し、マイナス水準となりました。

3か月後の業況D Iは、△33.3です。

オ 飲食業

飲食業では、宴会など法人需要の増加もあり売上高D I、客数D Iが改善したほか、仕入価格上昇分の販売価格への転嫁が一部に進み、収益率D Iが改善したことから、業況D Iは70.4と前回（69.3）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、13.6です。

カ 宿泊業

宿泊業では、県外客を始めインバウンドの増加などもあり、売上高D I、客数D Iは改善したものの、慢性的な人手不足や、食材価格の高騰、エネルギーコストの増加などから、収益率D Iが悪化し、業況D Iは61.5と高水準ながらも前回（62.5）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、41.6です。

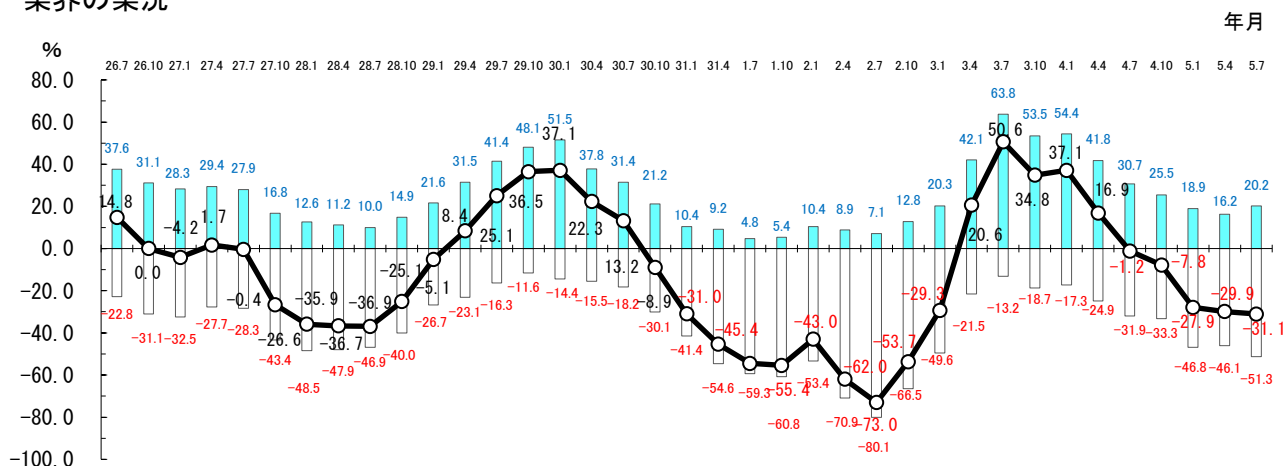
景気動向調査集計結果

(注) 棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

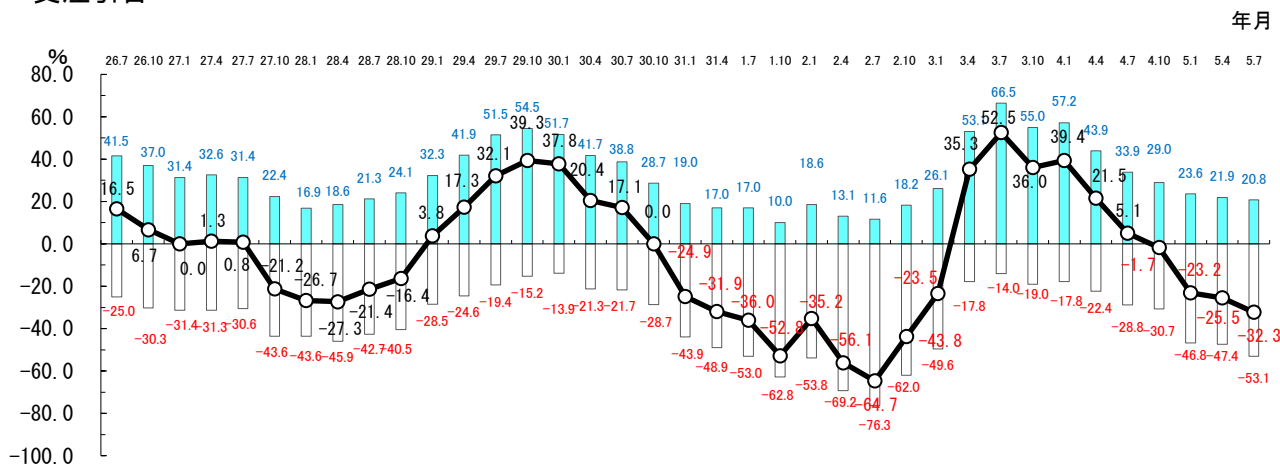
1 製造業

(1) 前年同期に比べて

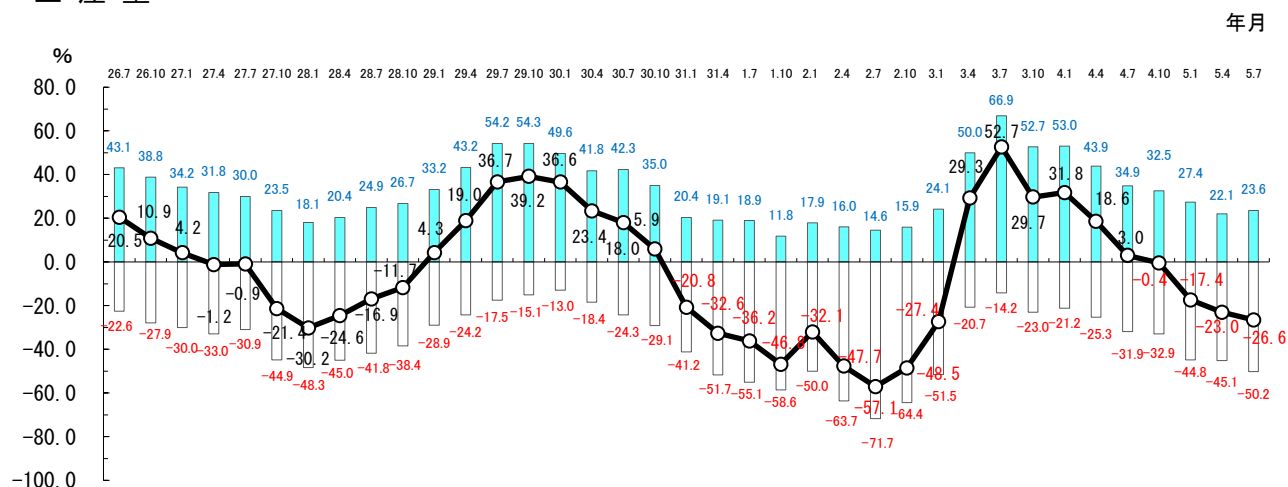
業界の業況



受注引合

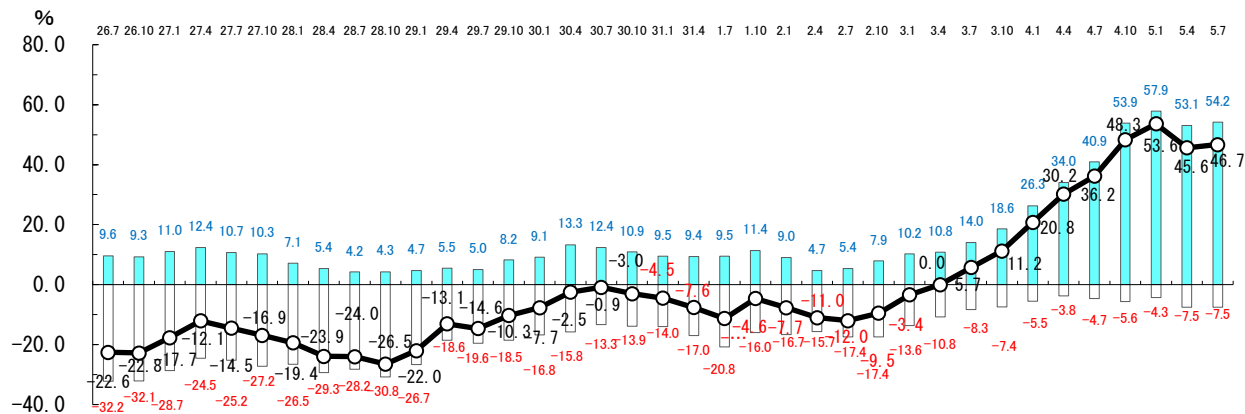


生産量



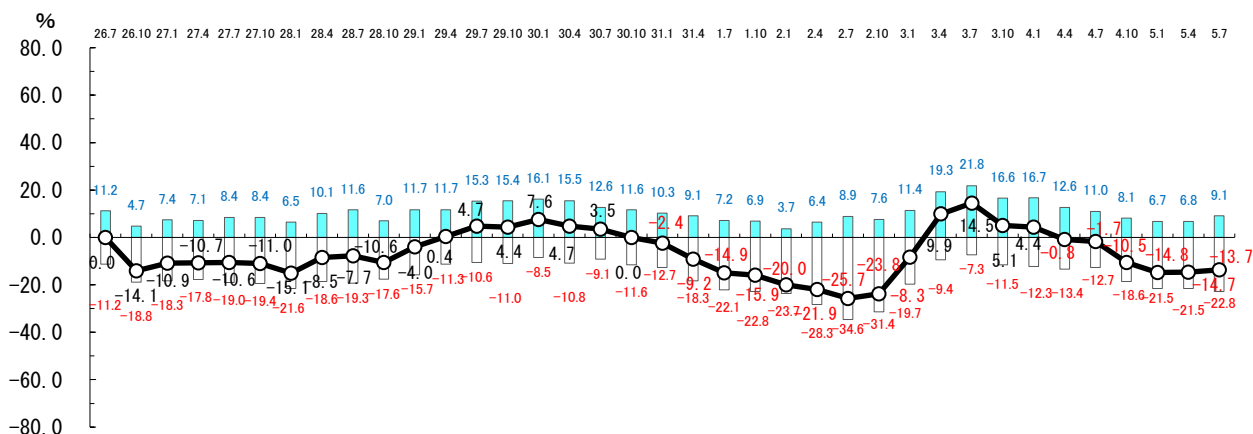
製品販売価格

年月



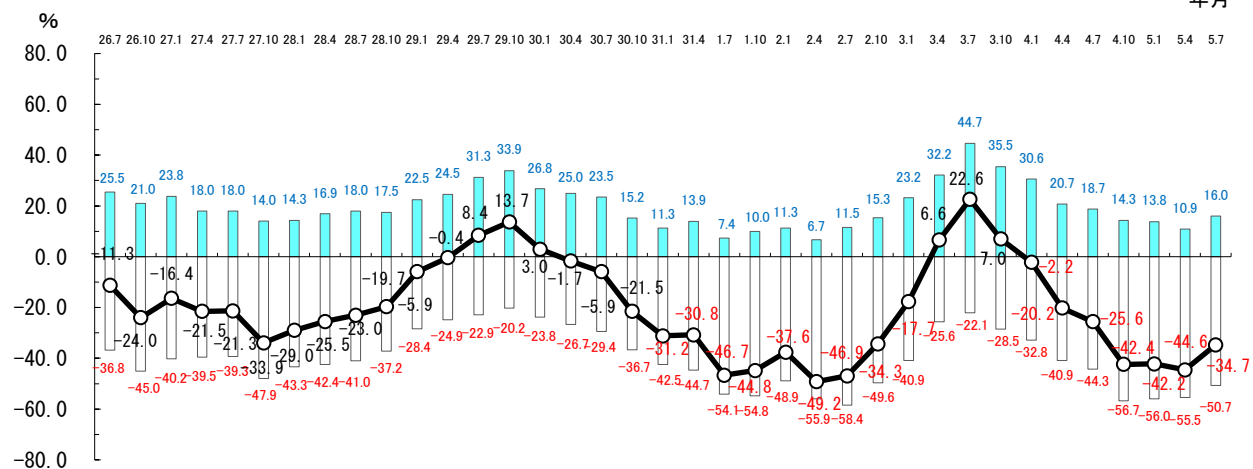
資金繰り

年月



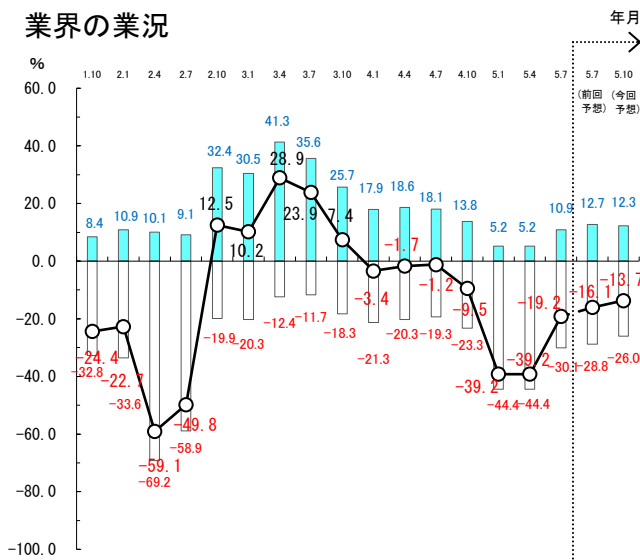
収益率

年月

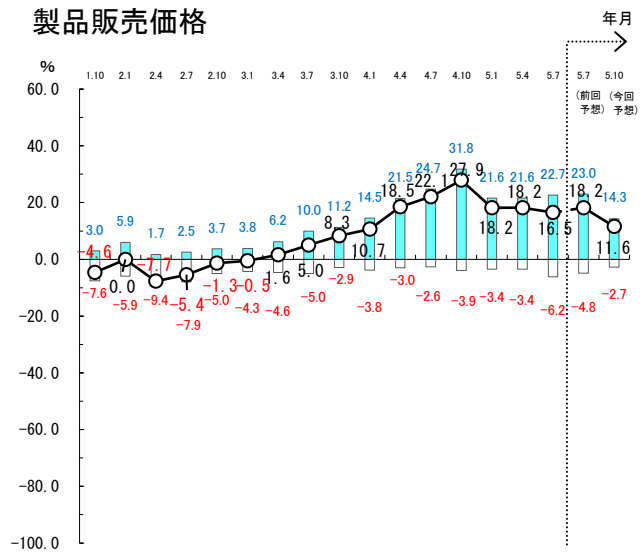


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

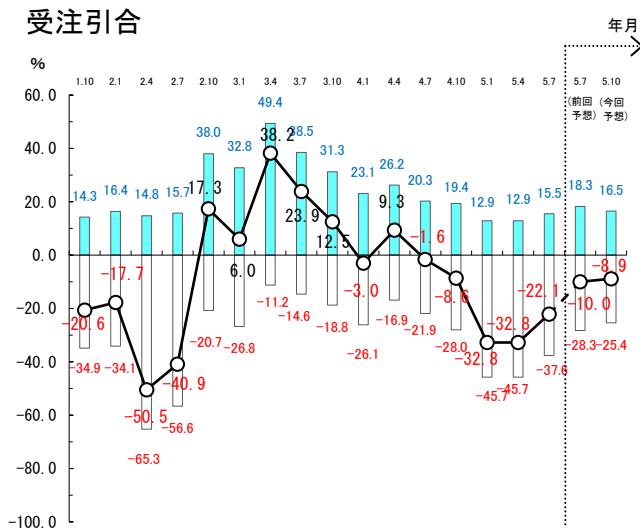
業界の業況



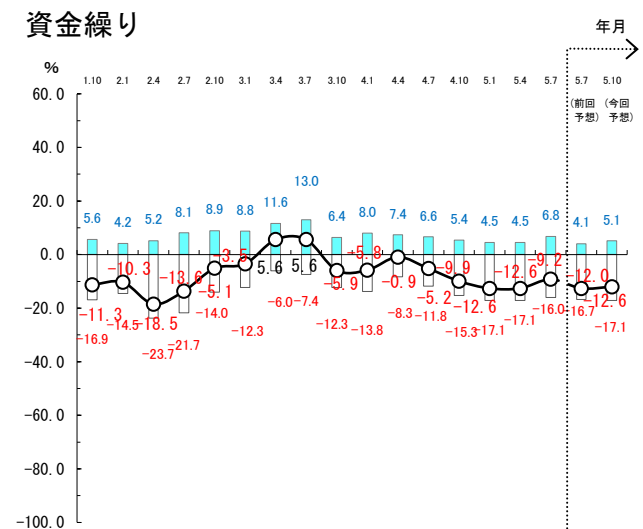
製品販売価格



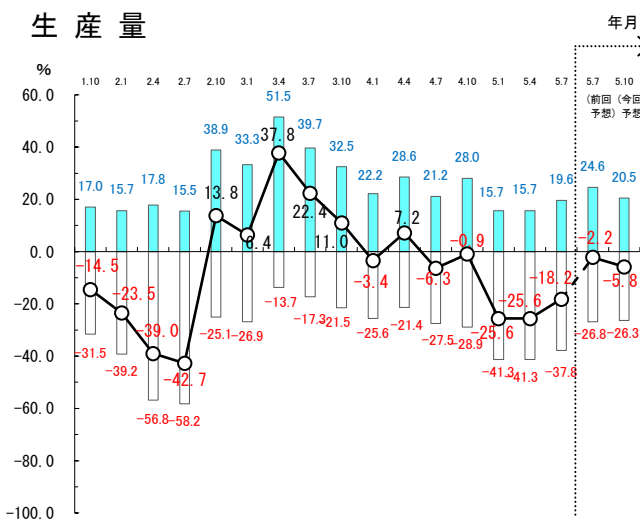
受注引合



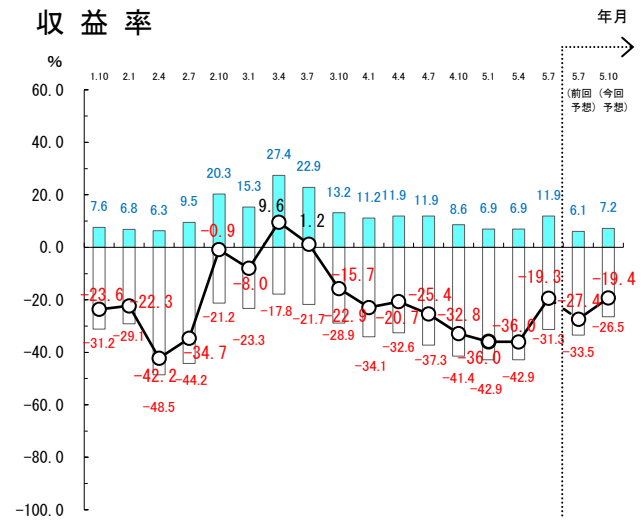
資金繰り



生産量



収益率

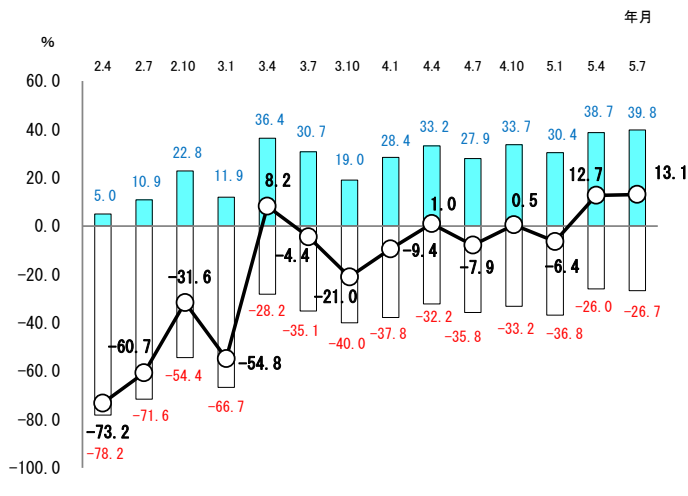


2 非製造業

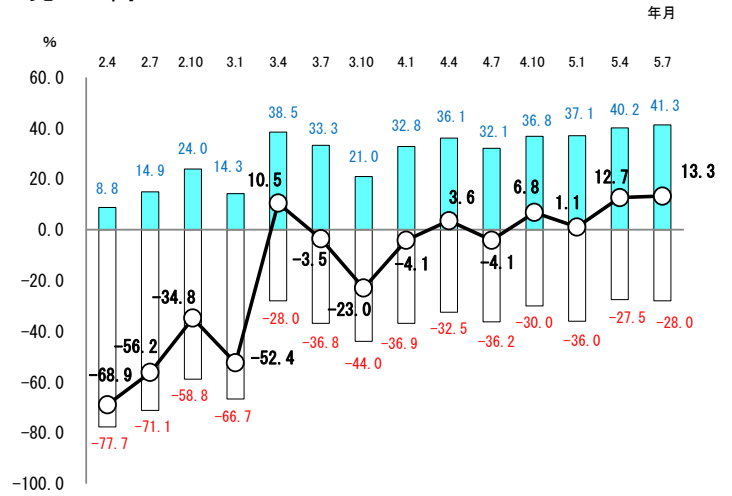
(1) 前年同期に比べて

非製造業全体

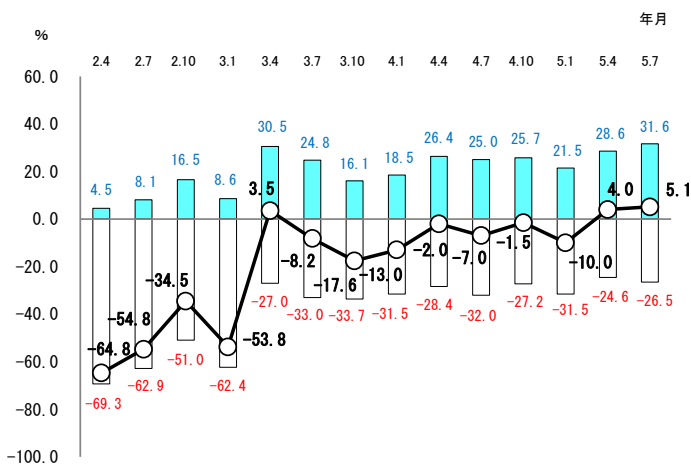
業況



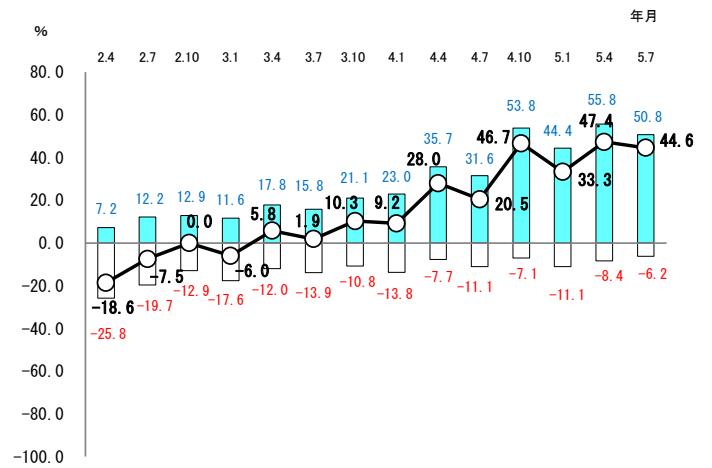
売上高



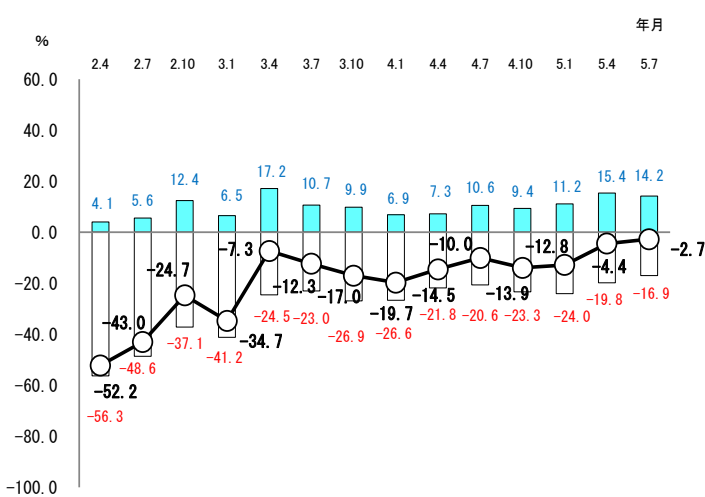
客数 (受注件数・取引先数)



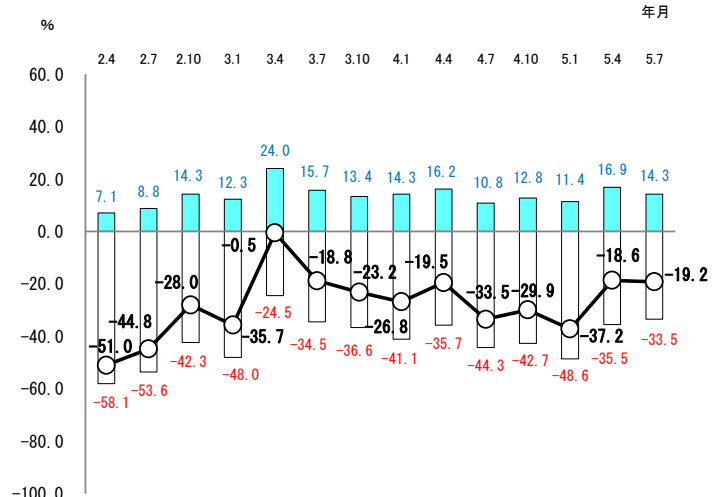
販売価格



資金繰り

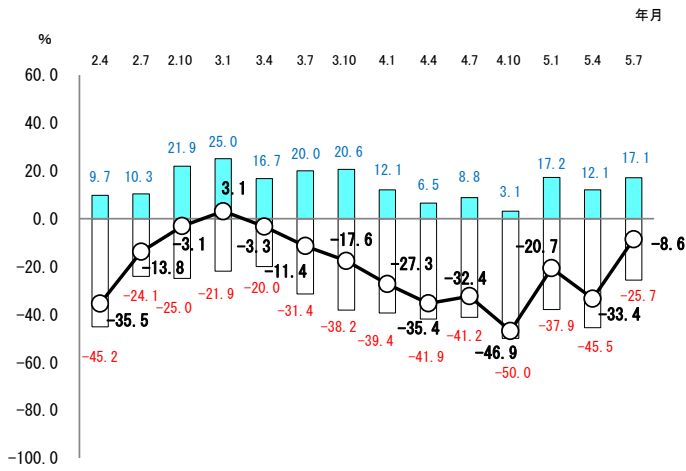


収益率

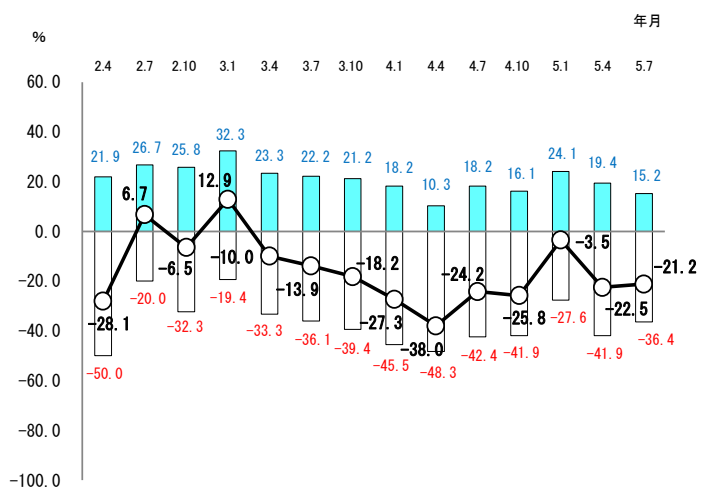


ア 建設業

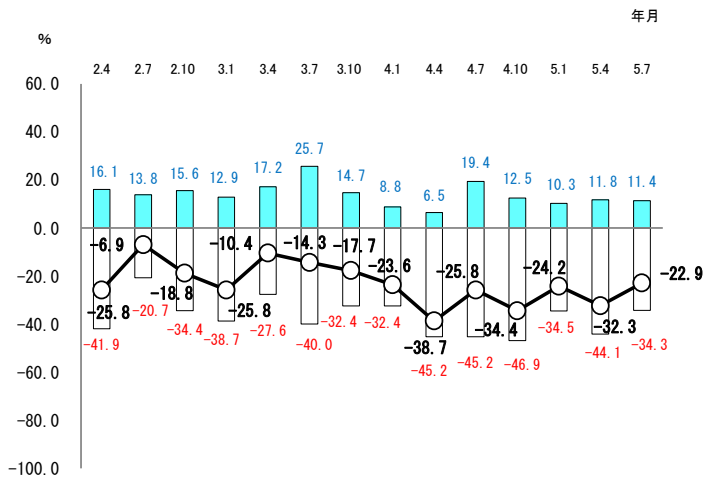
業況



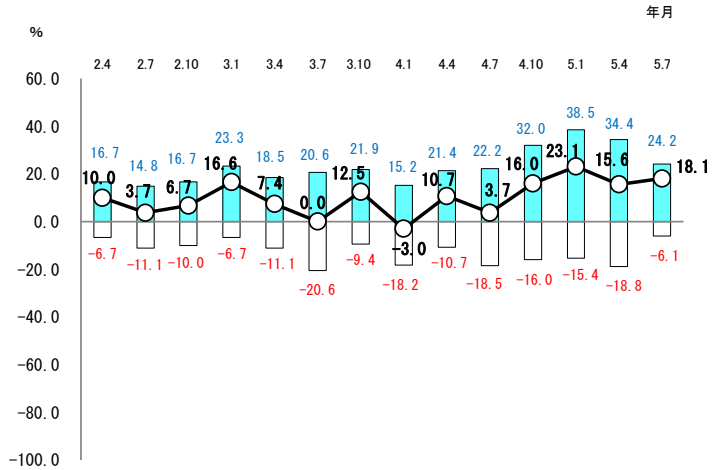
売上高



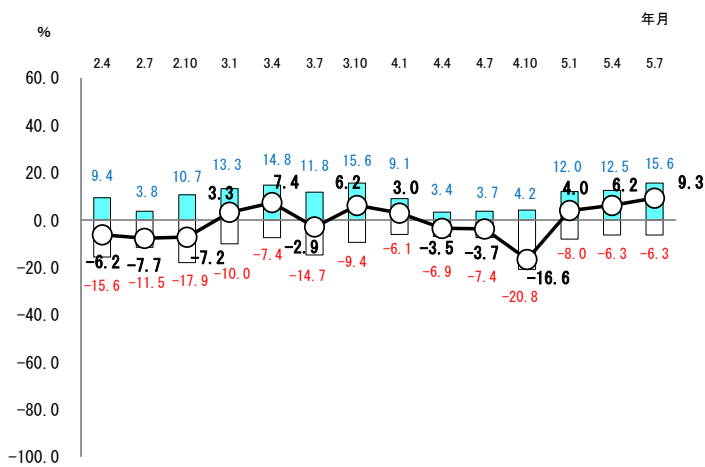
客数 (受注件数)



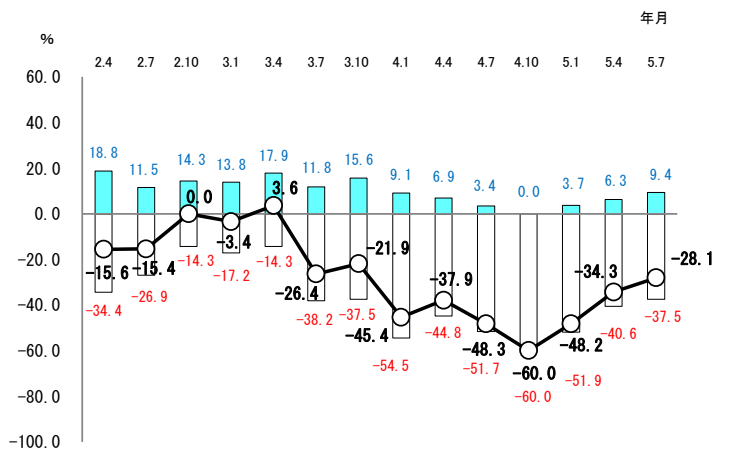
販売価格



資金繰り

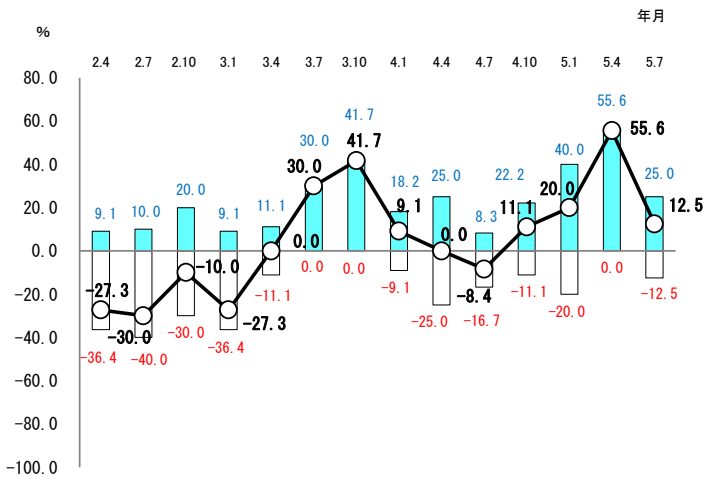


収益率

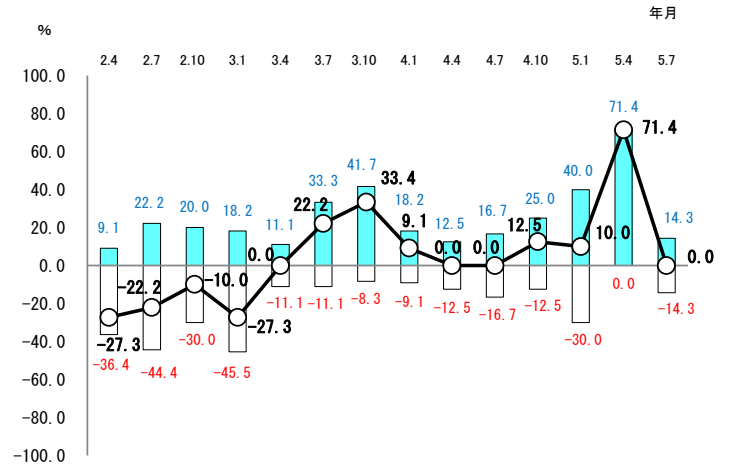


イ 情報サービス業

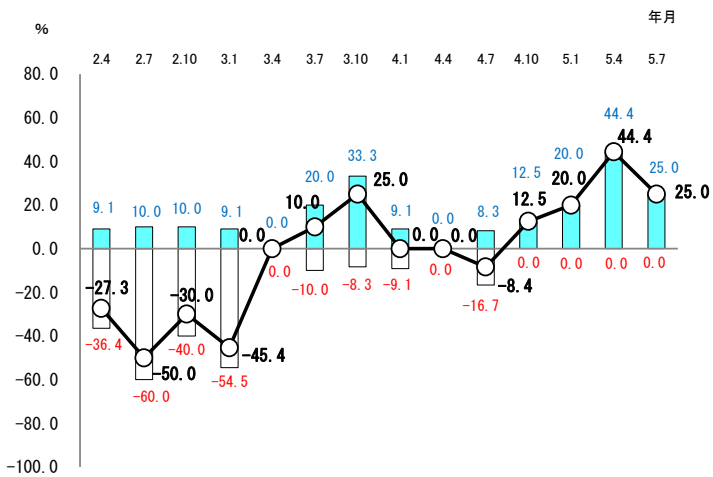
業況



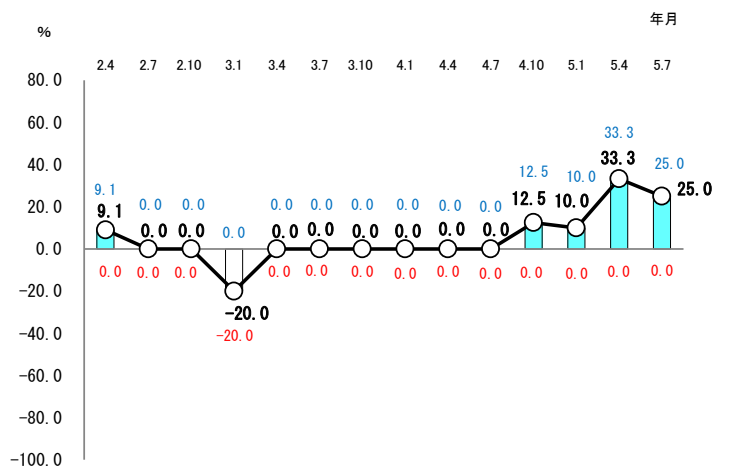
売上高



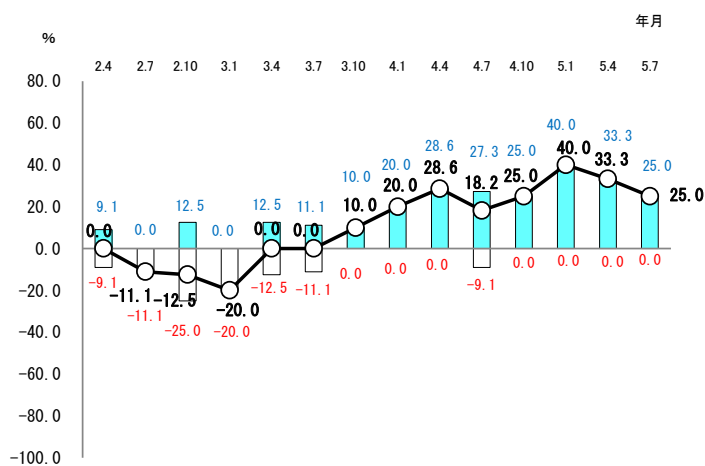
客数 (受注件数)



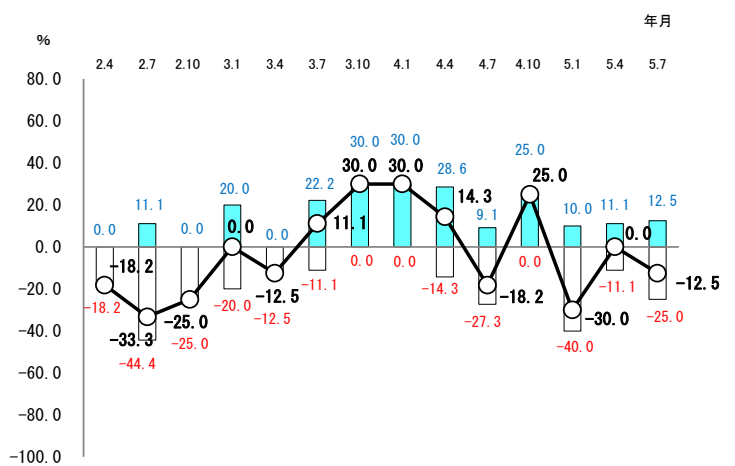
販売価格



資金繰り

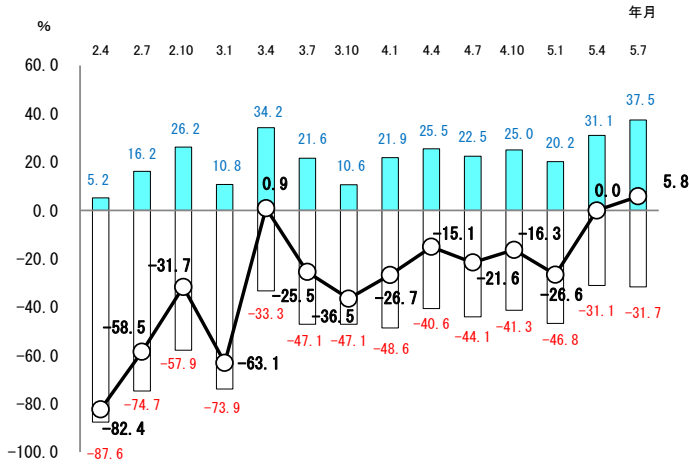


収益率

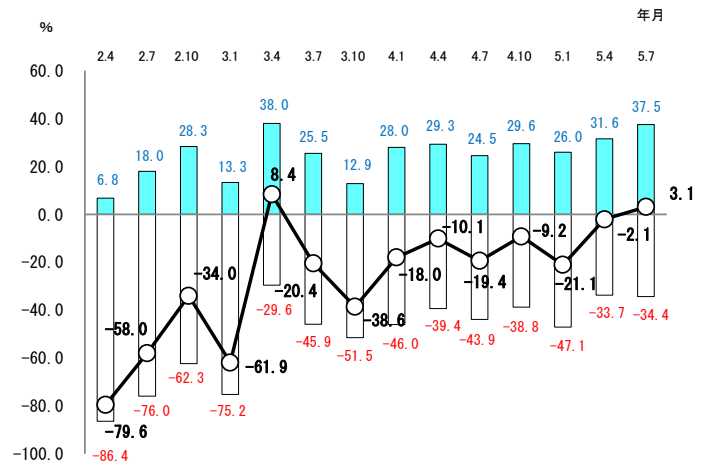


ウ 小売業

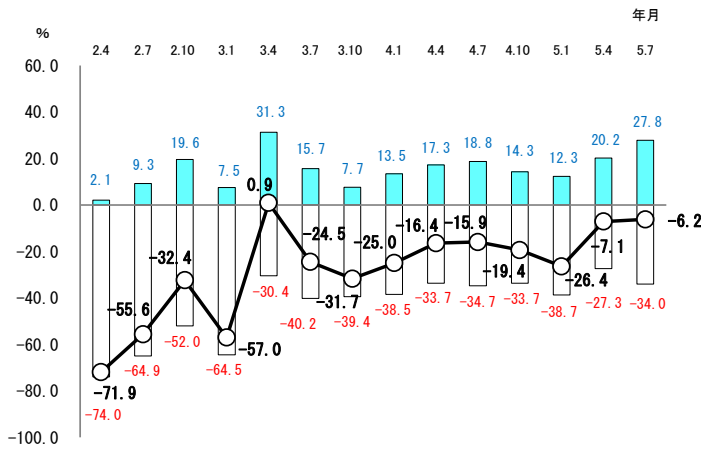
業況



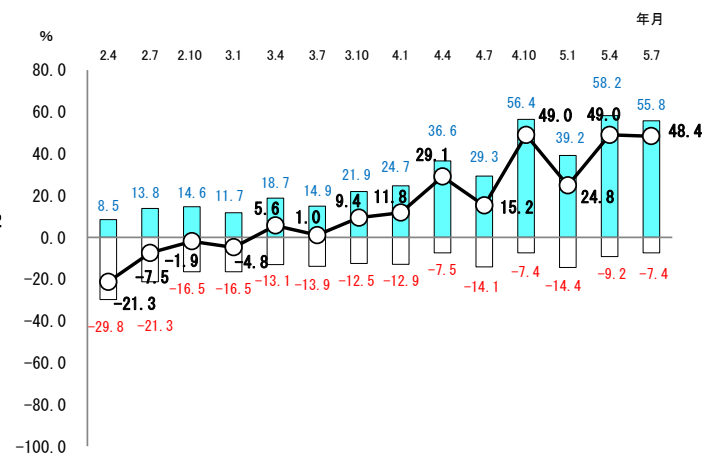
売上高



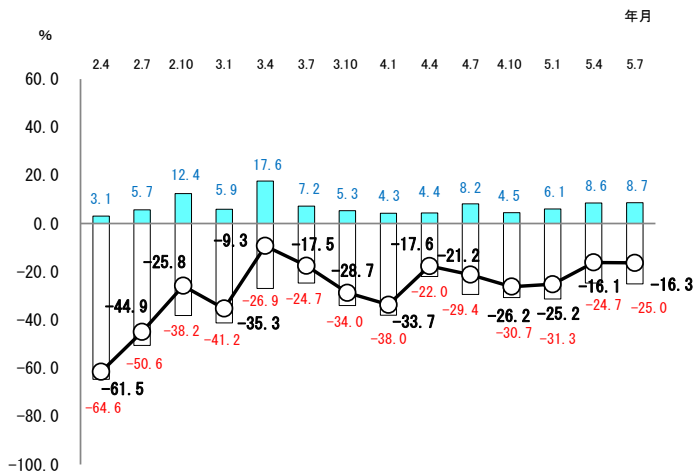
客数



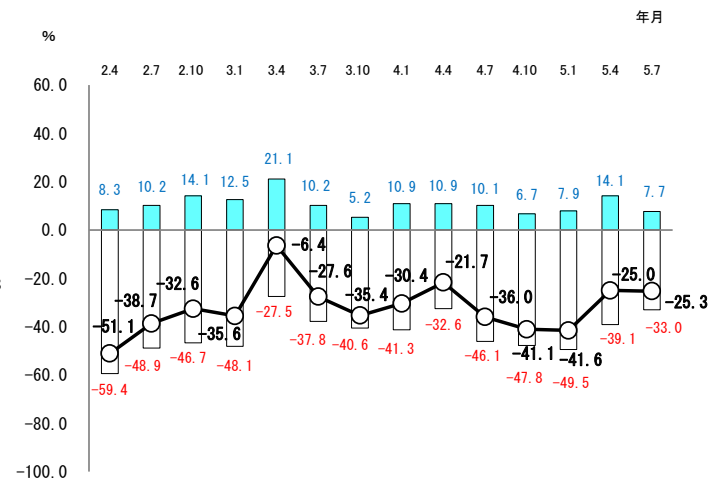
販売価格



資金繰り

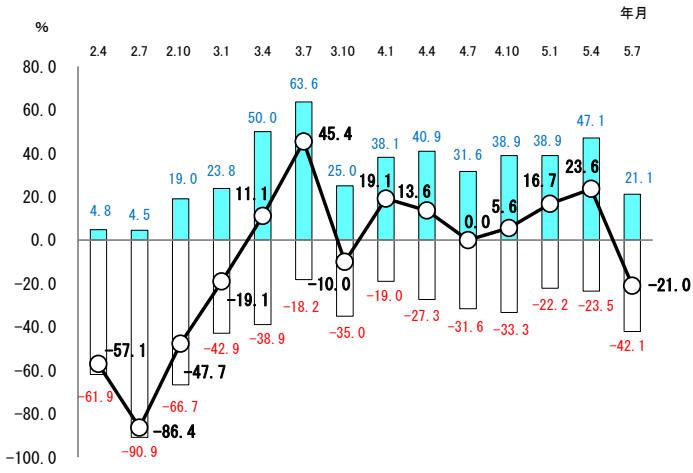


収益率

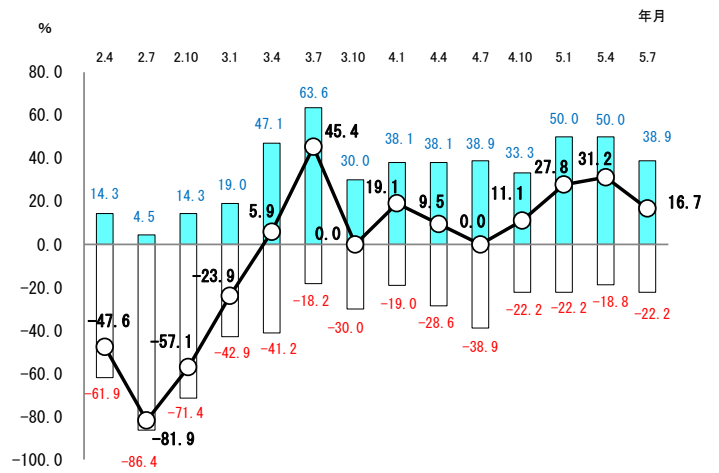


工 卸売業

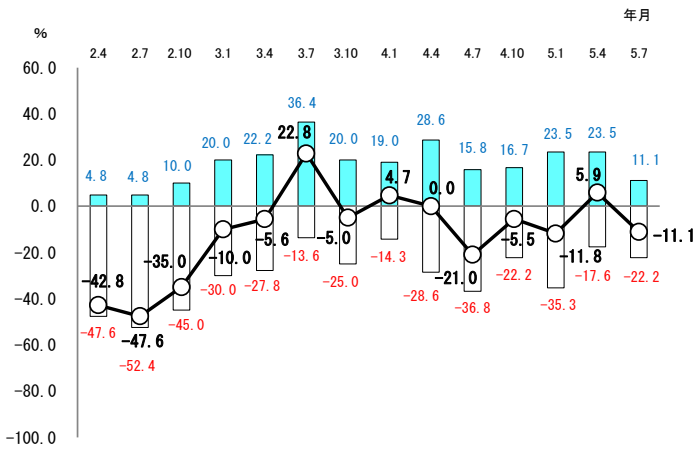
業況



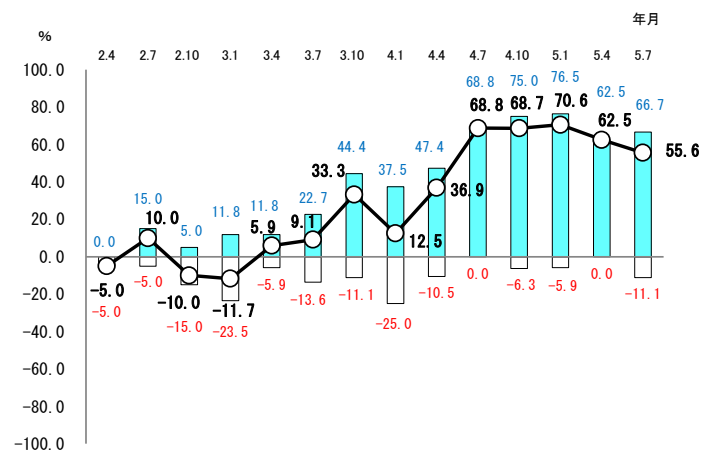
売上高



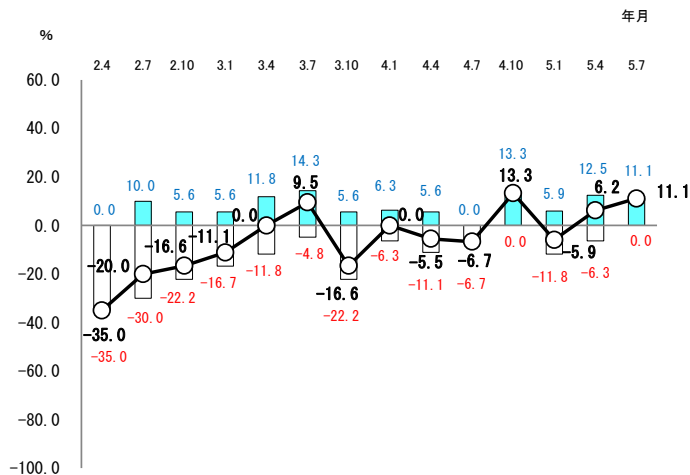
客数 (取引先数)



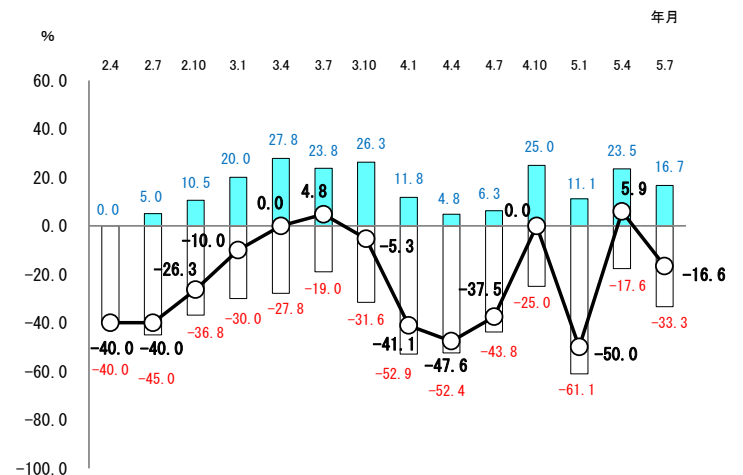
販売価格



資金繰り

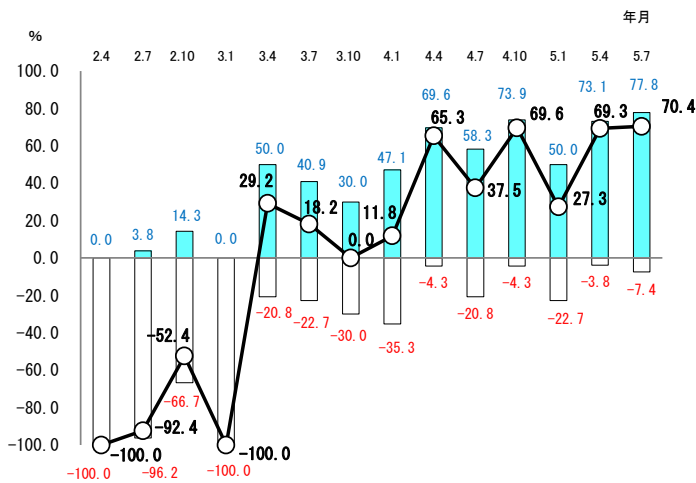


収益率

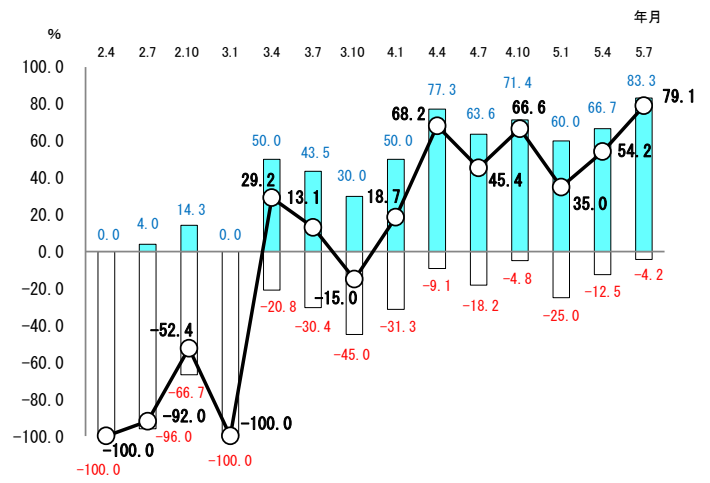


才 飲食業

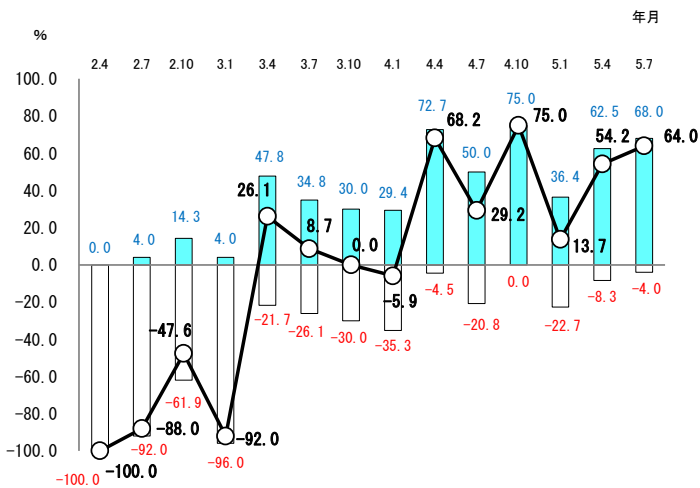
業況



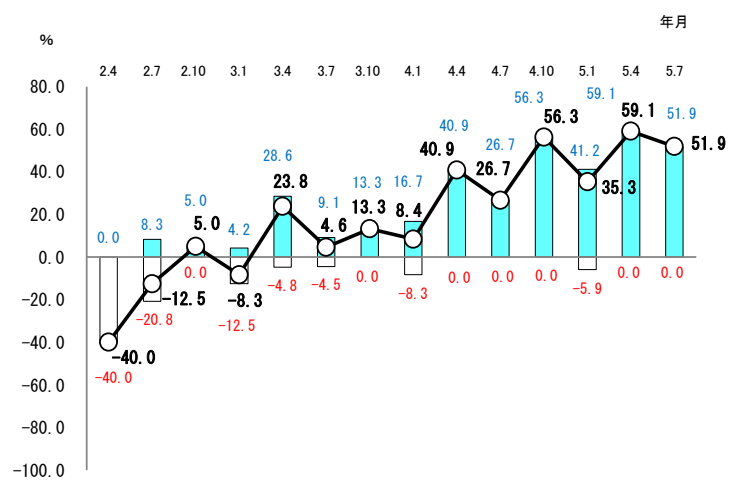
売上高



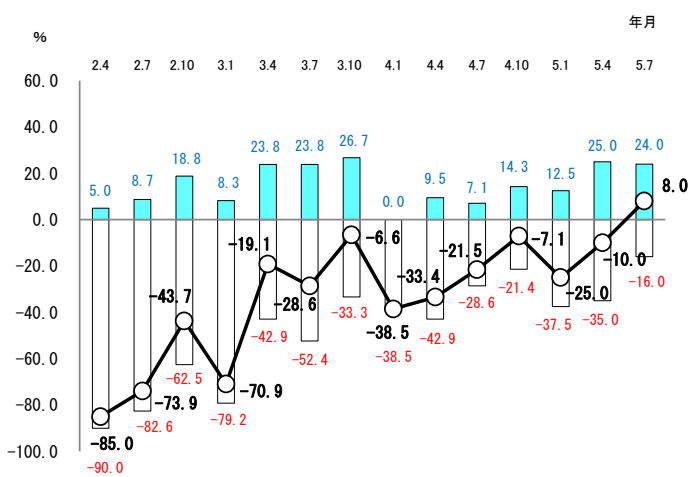
客数



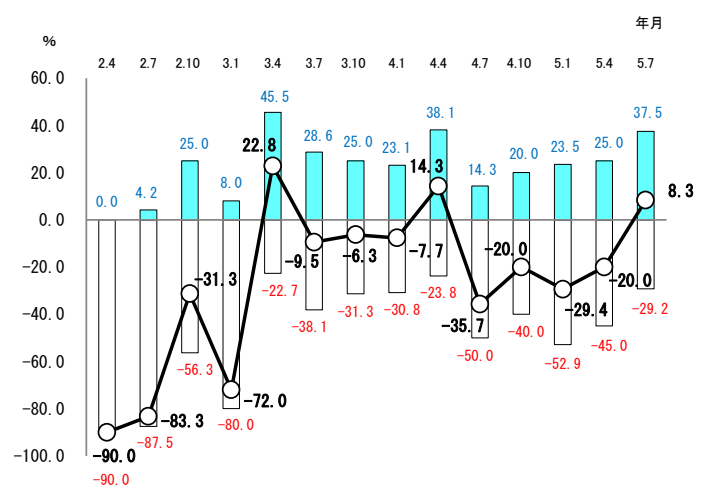
販売価格



資金繰り

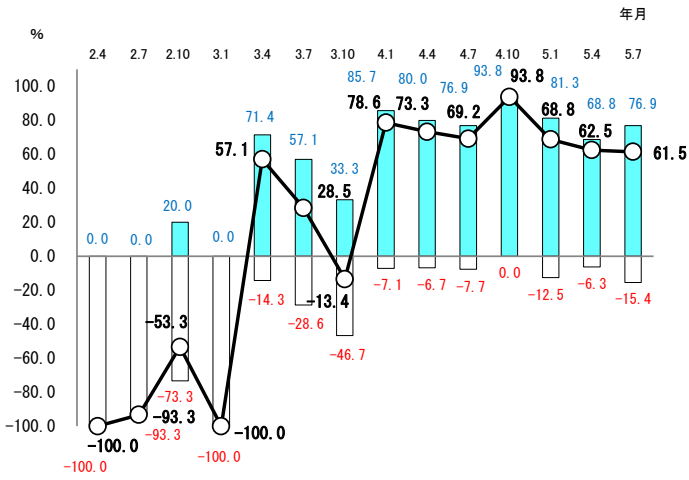


収益率

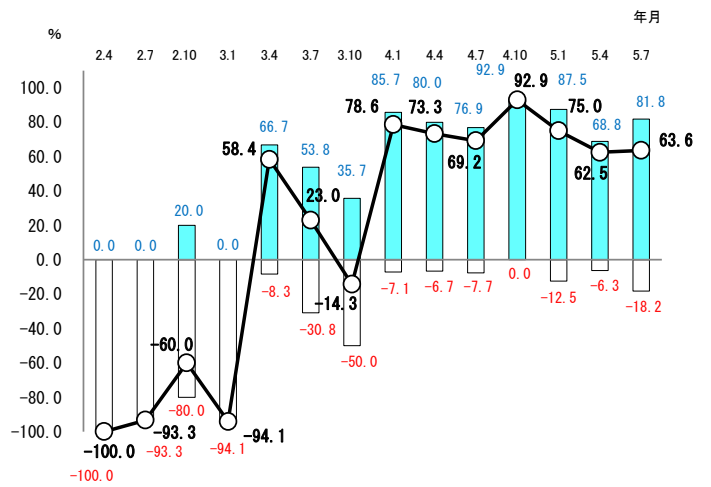


力 宿泊業

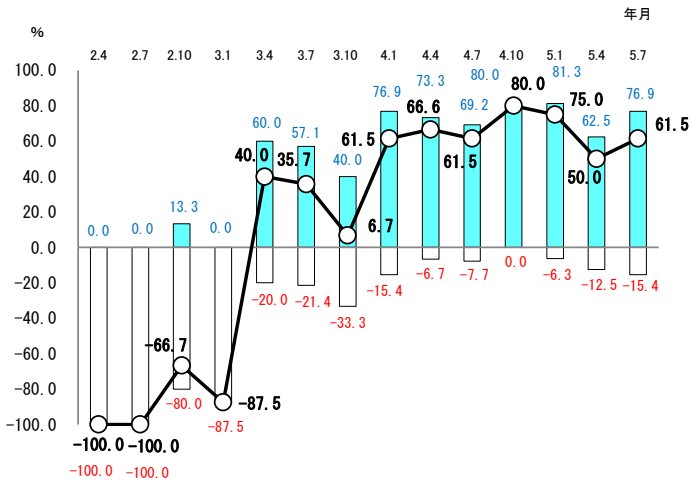
業況



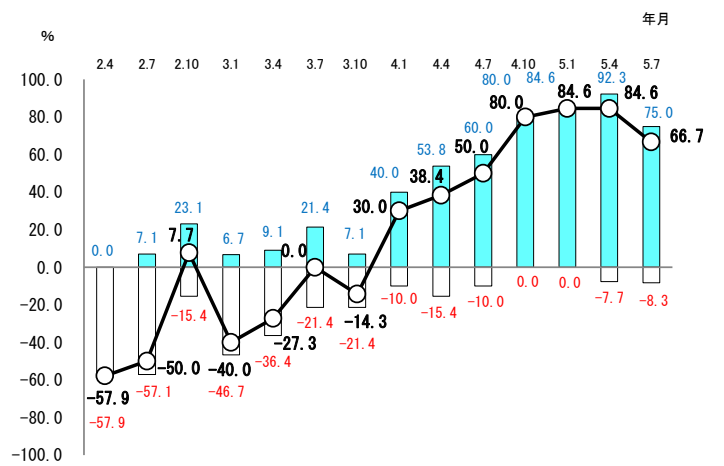
売上高



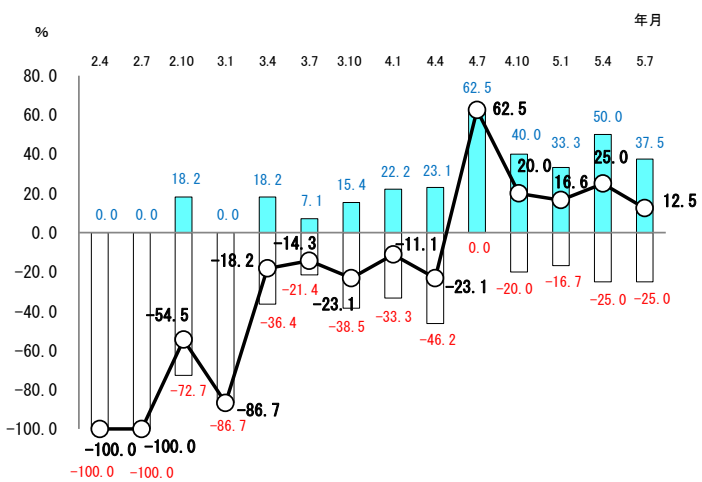
客数



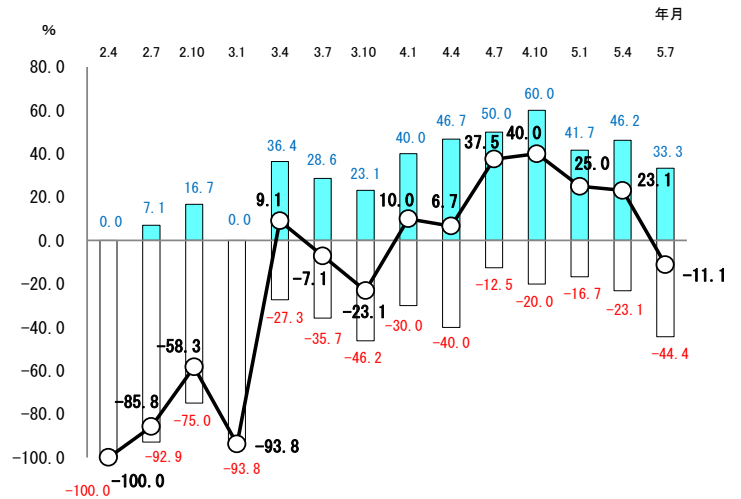
販売価格



資金繰り

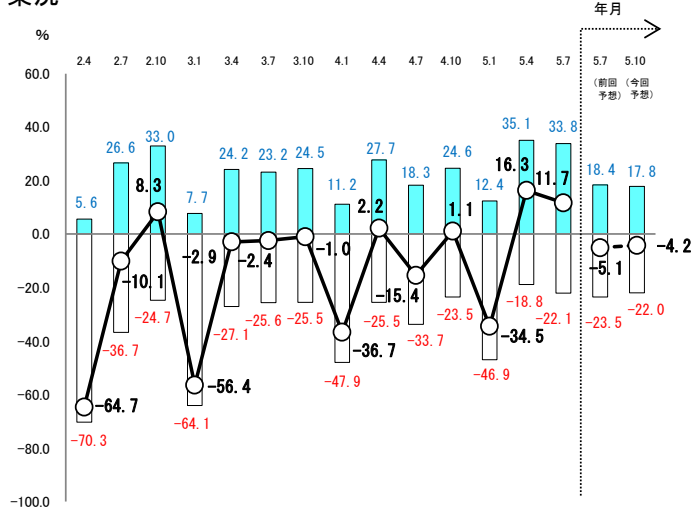


収益率

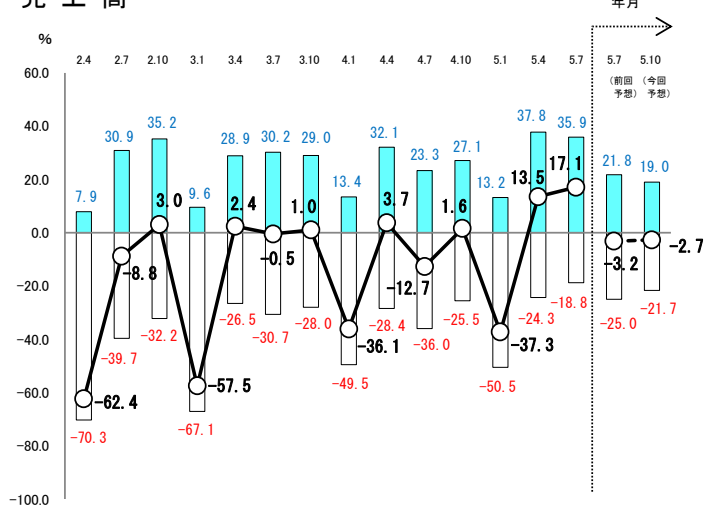


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想
非製造業全体

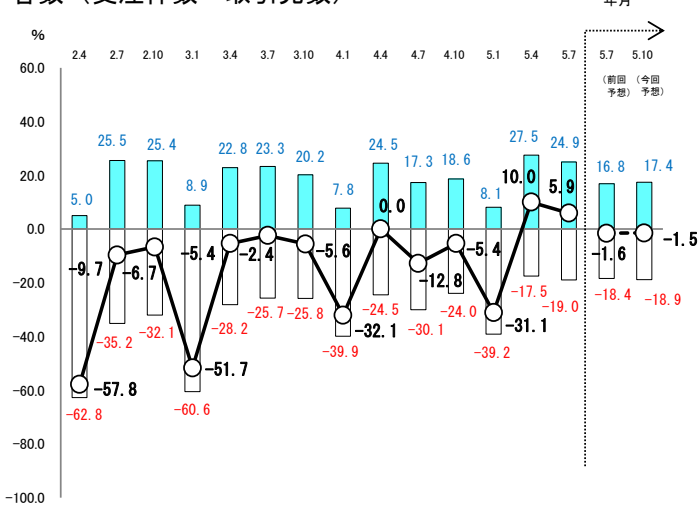
業況



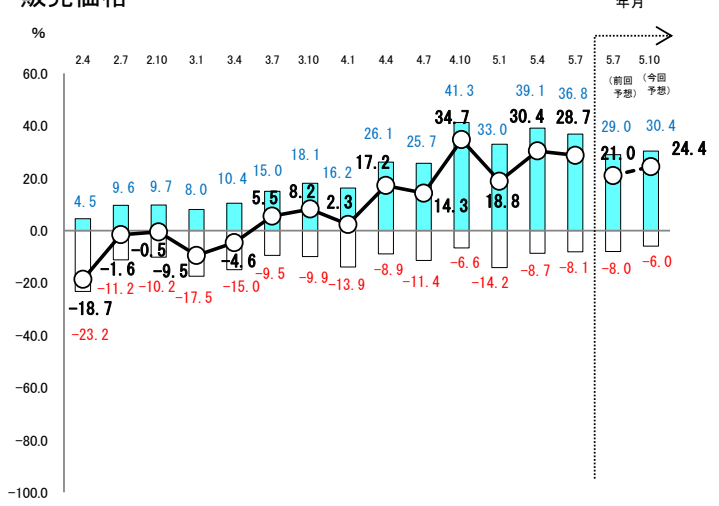
売上高



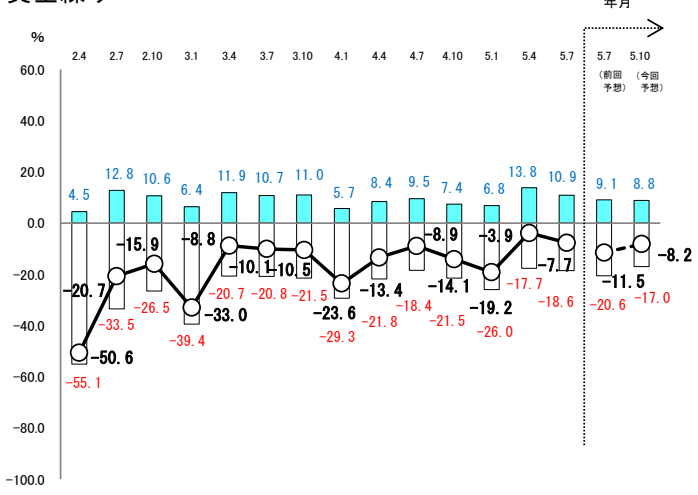
客数 (受注件数・取引先数)



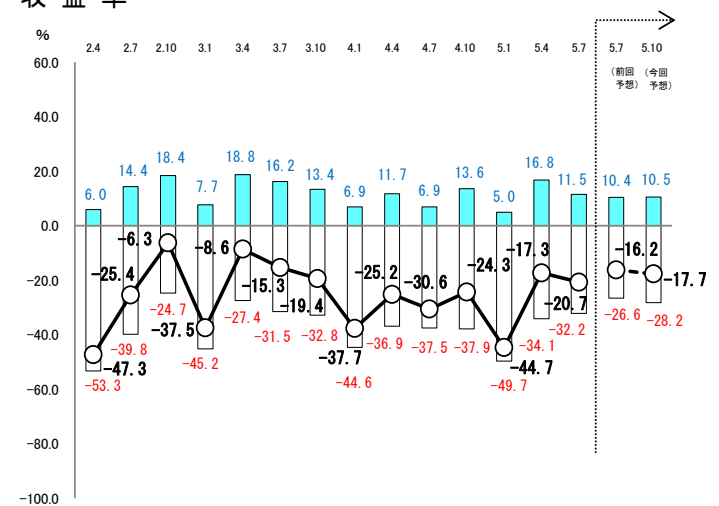
販売価格



資金繰り

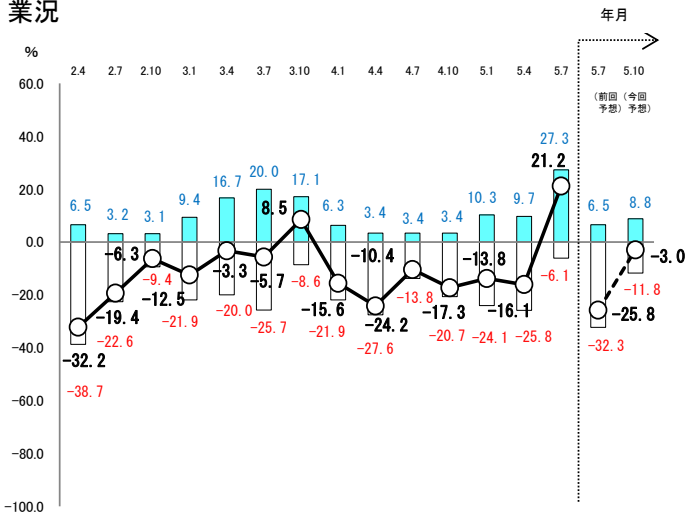


収益率

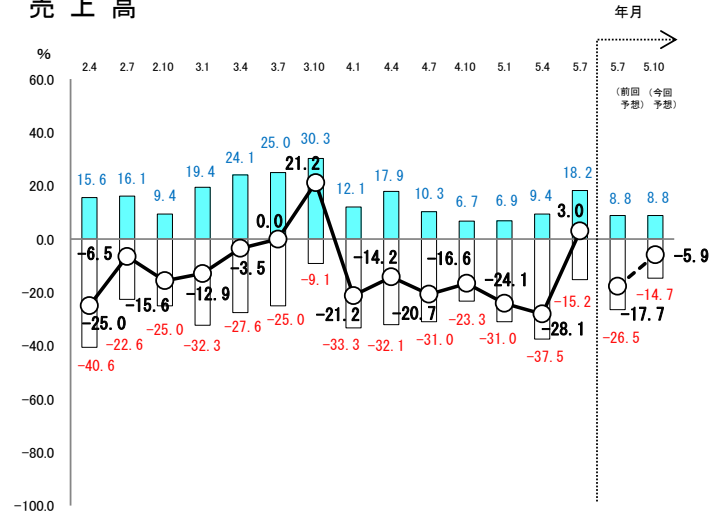


ア 建設業

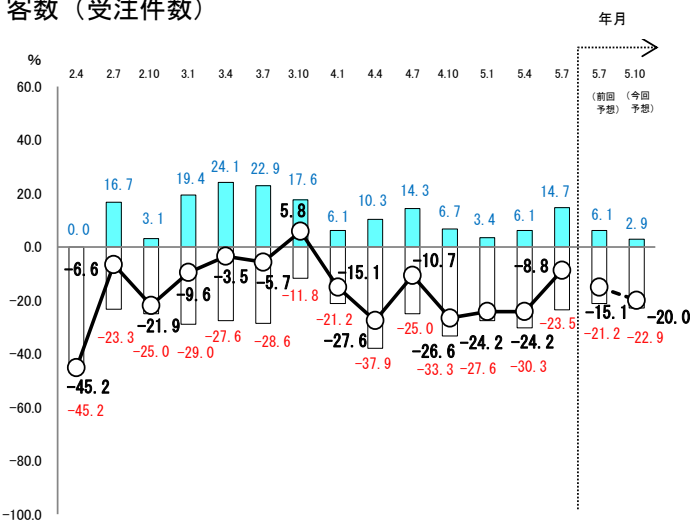
業況



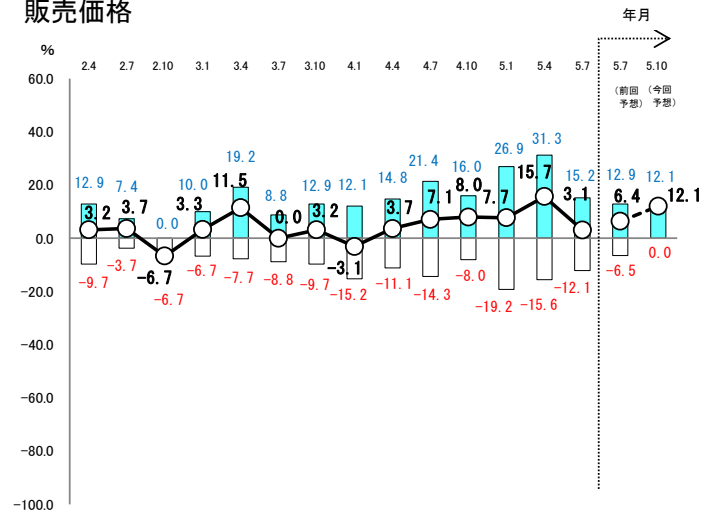
売上高



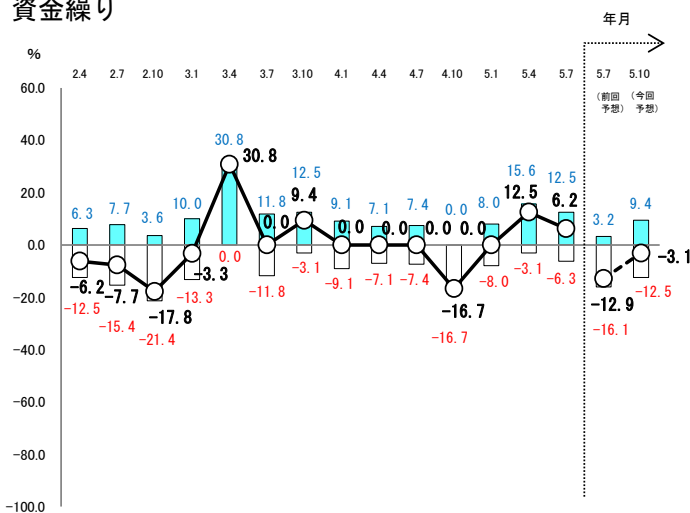
客数 (受注件数)



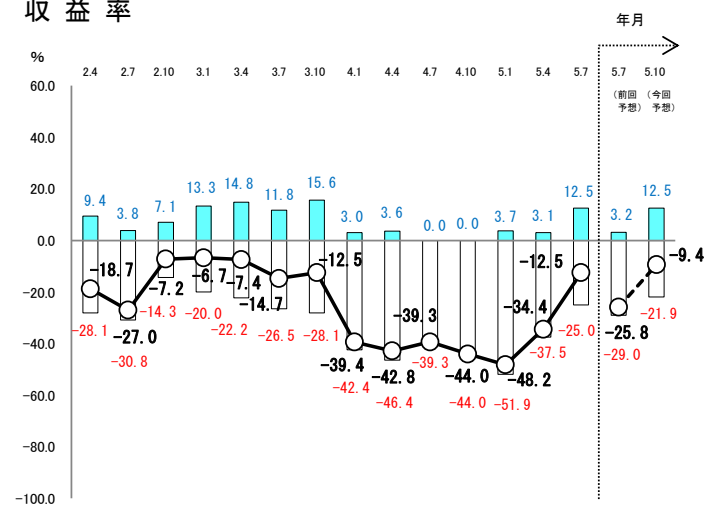
販売価格



資金繰り

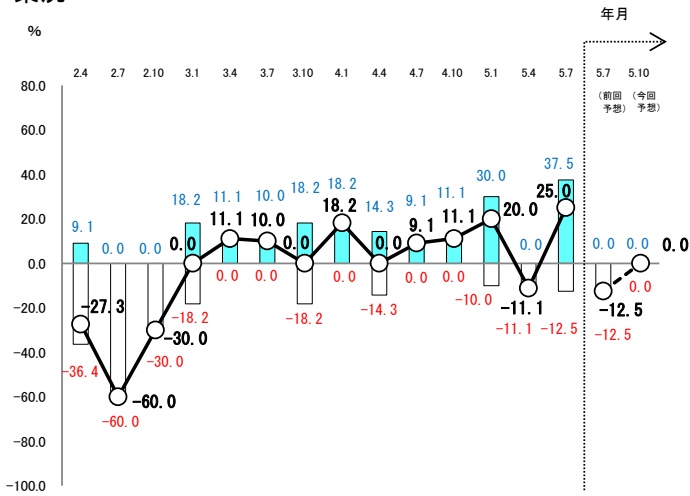


収益率

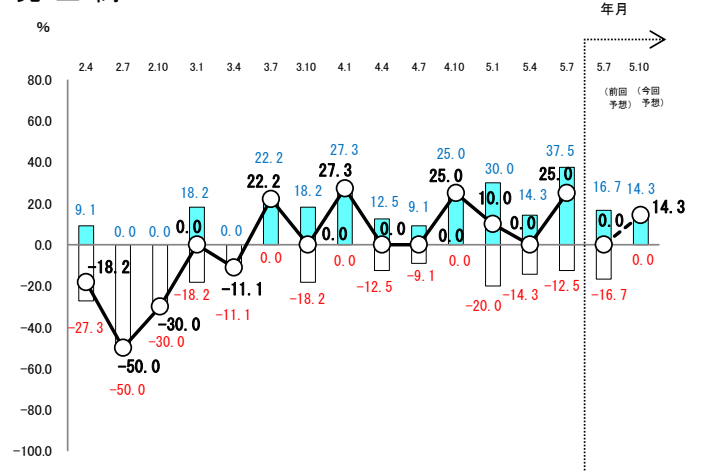


イ 情報サービス業

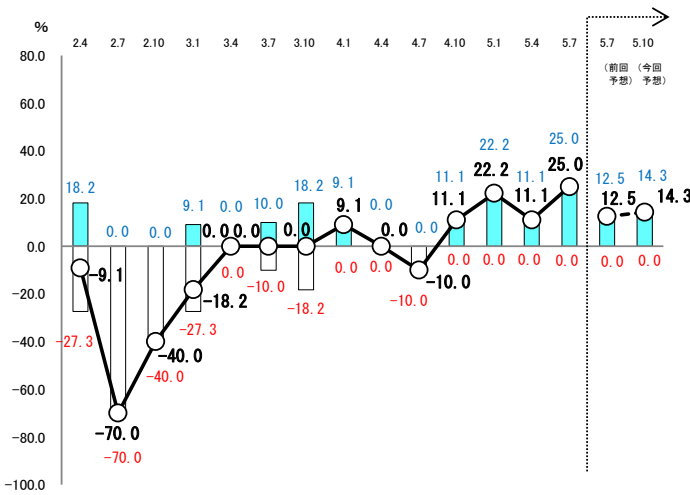
業況



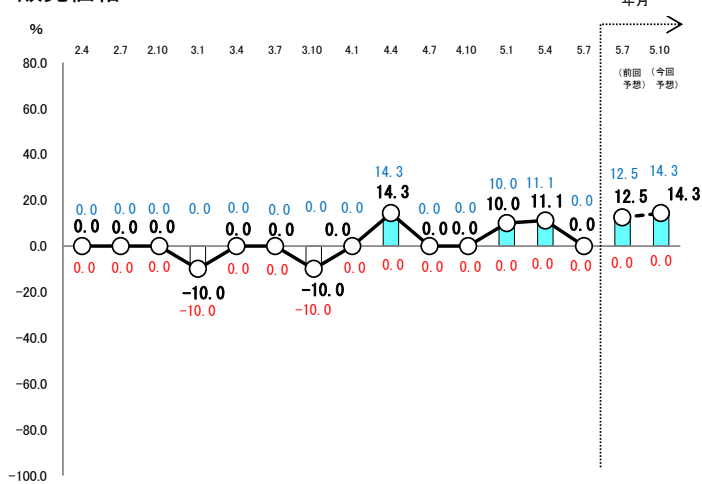
売上高



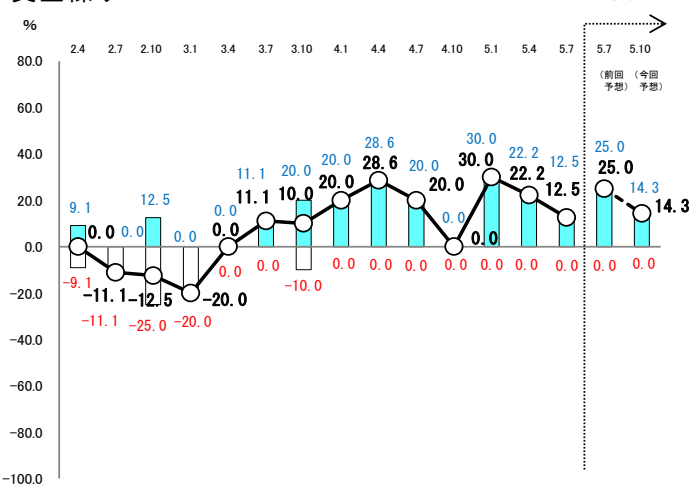
客数 (受案件数)



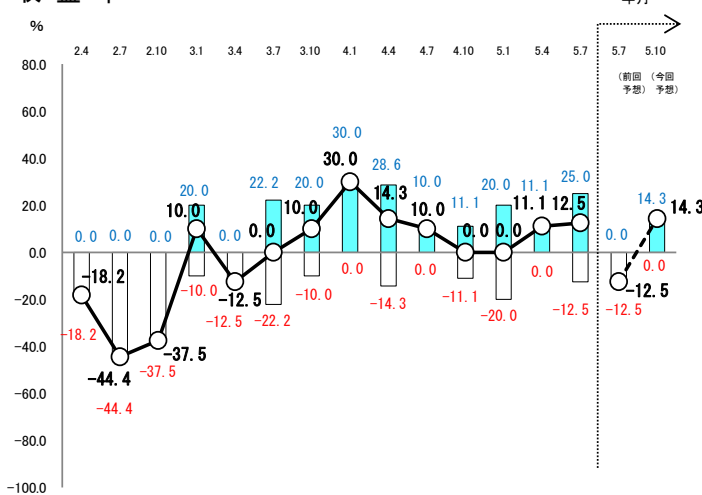
販売価格



資金繰り

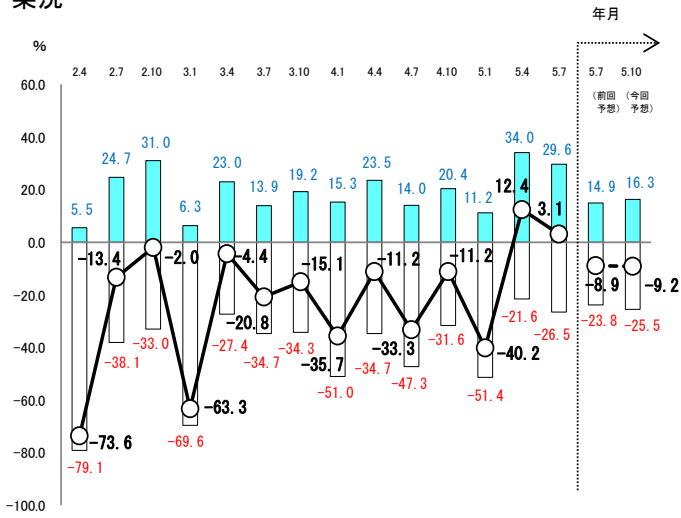


収益率

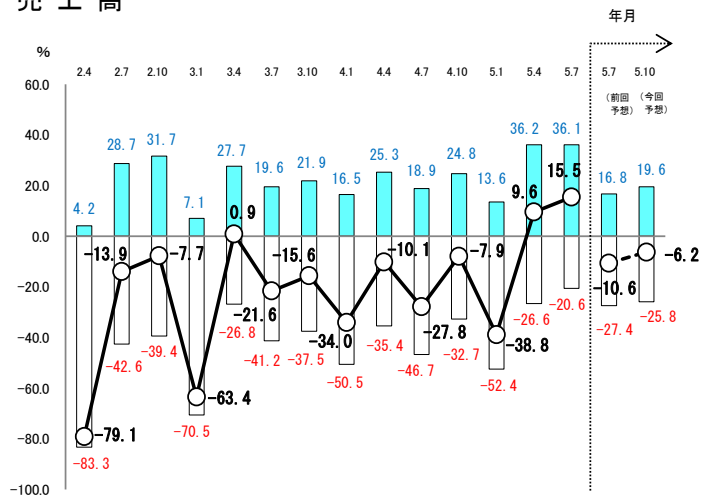


ウ 小売業

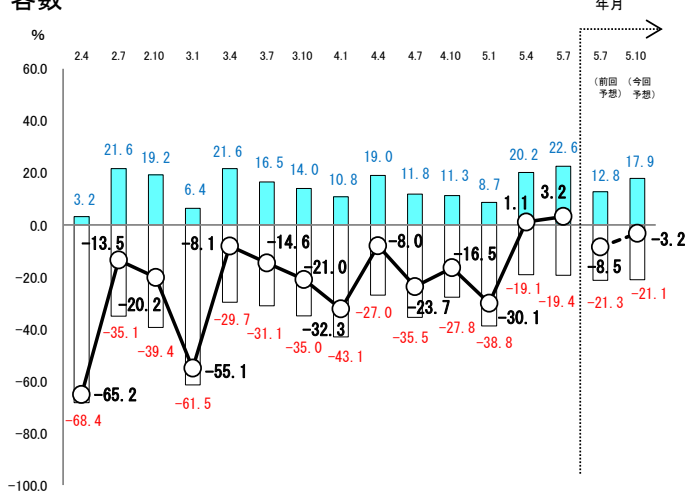
業況



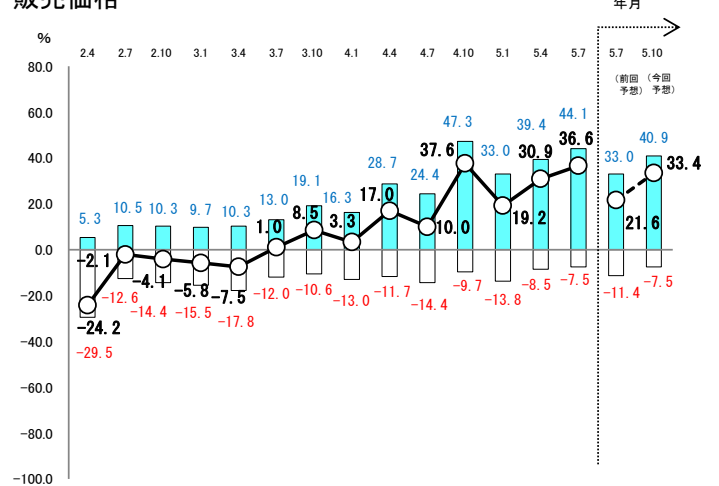
売上高



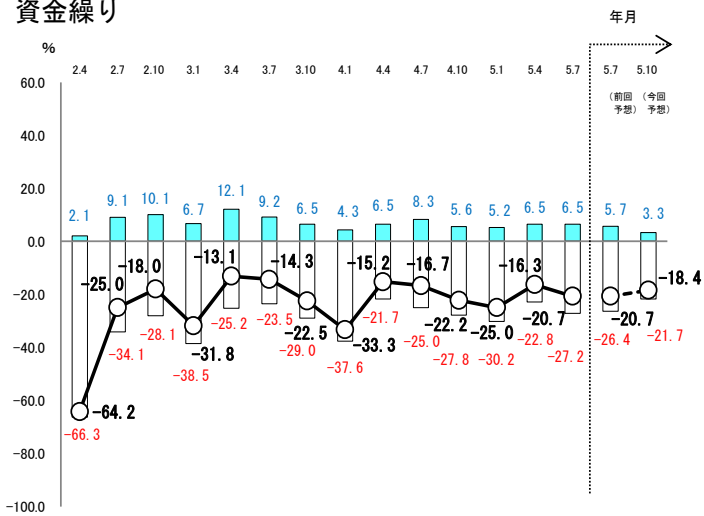
客数



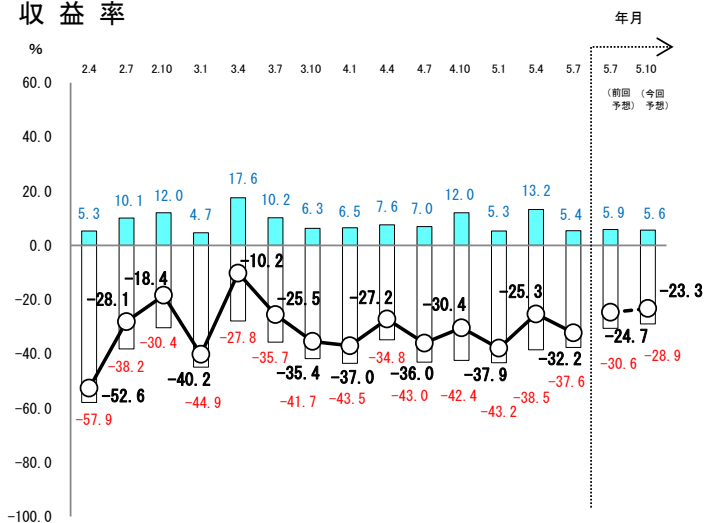
販売価格



資金繰り

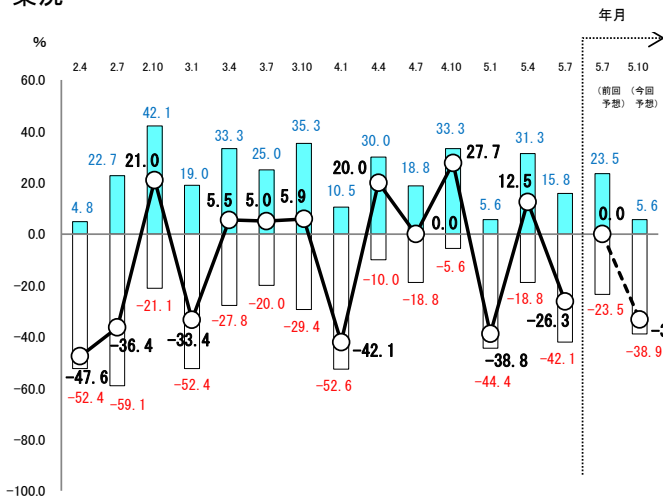


収益率

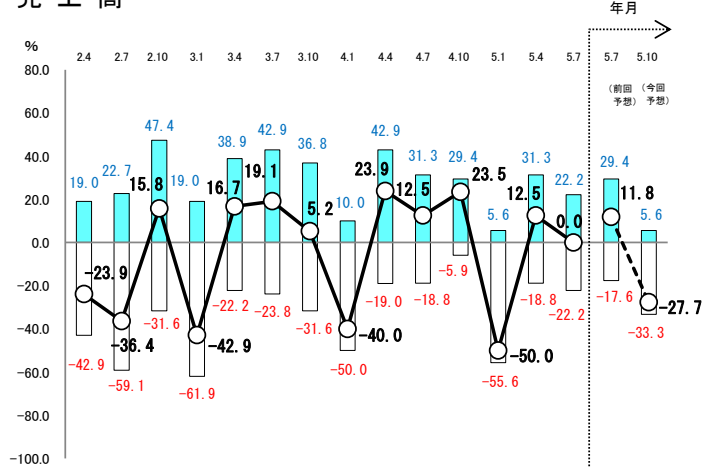


工 卸売業

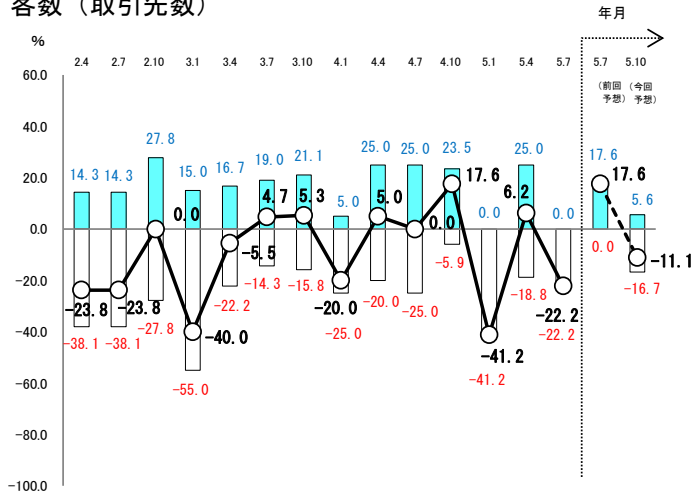
業況



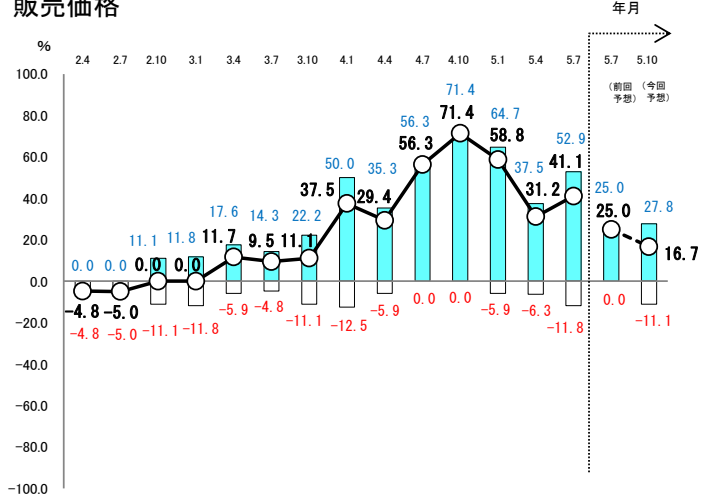
売上高



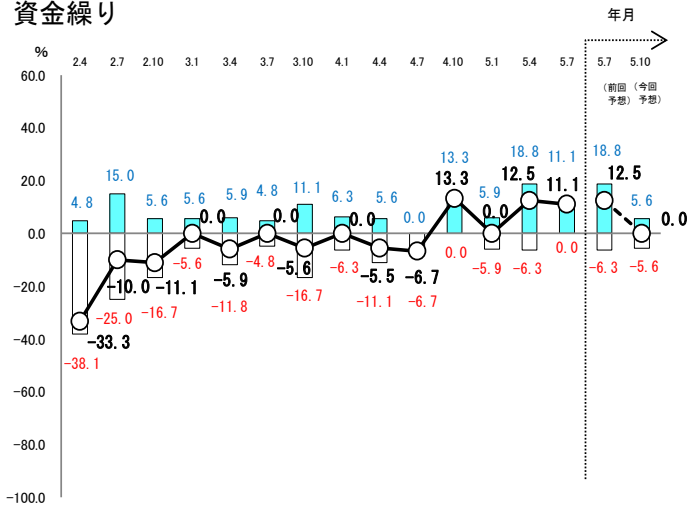
客数 (取引先数)



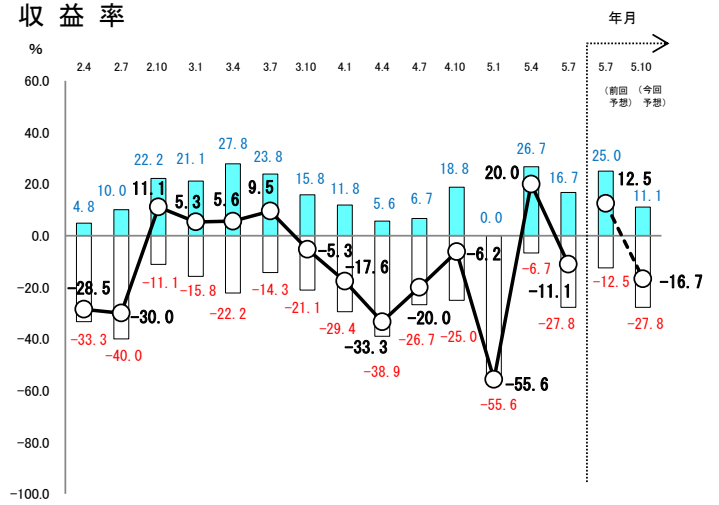
販売価格



資金繰り

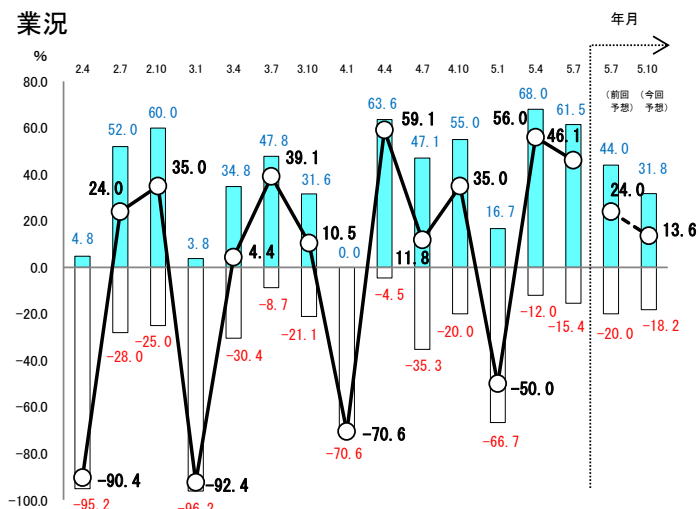


収益率

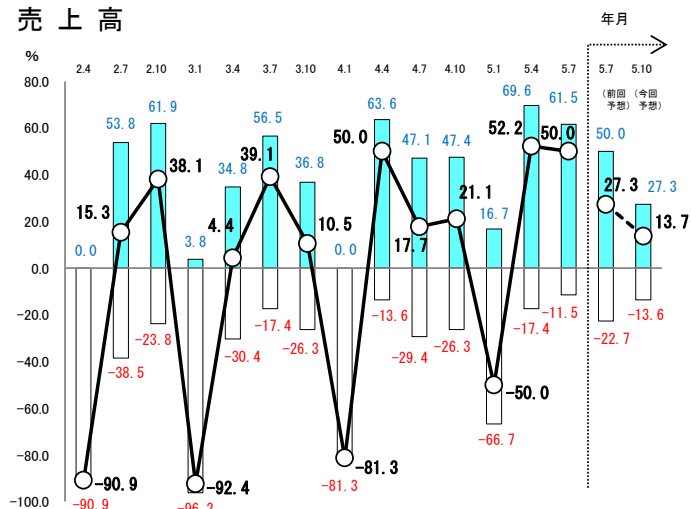


才 飲食業

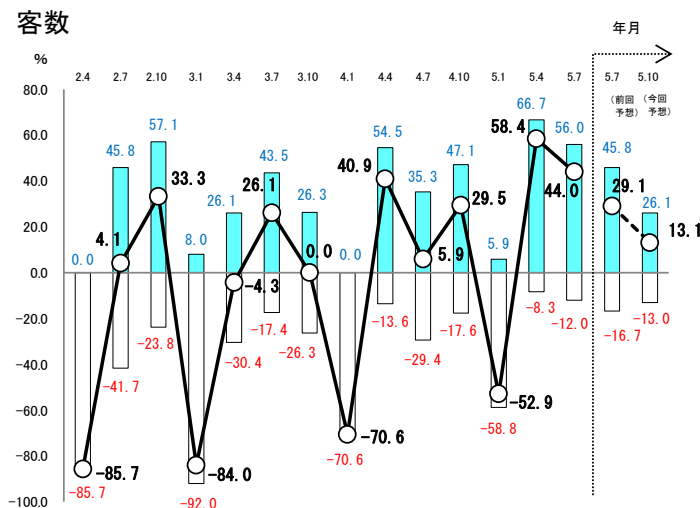
業況



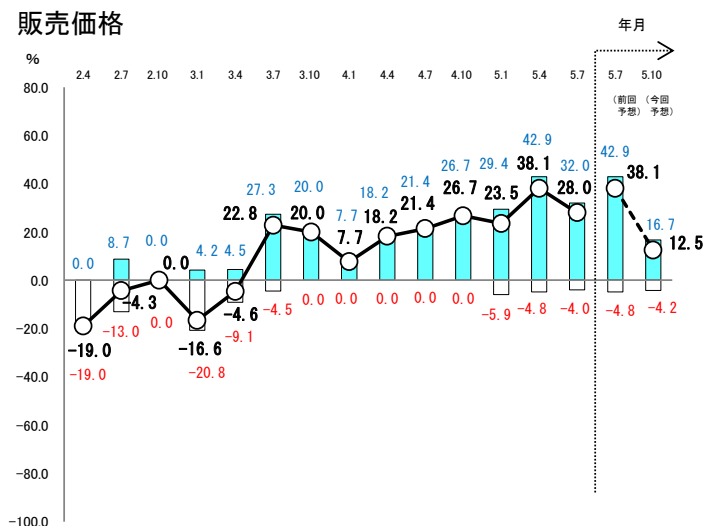
売上高



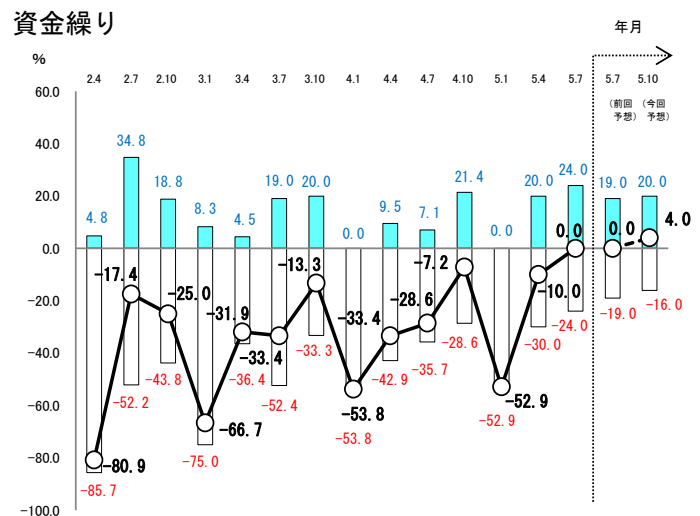
客数



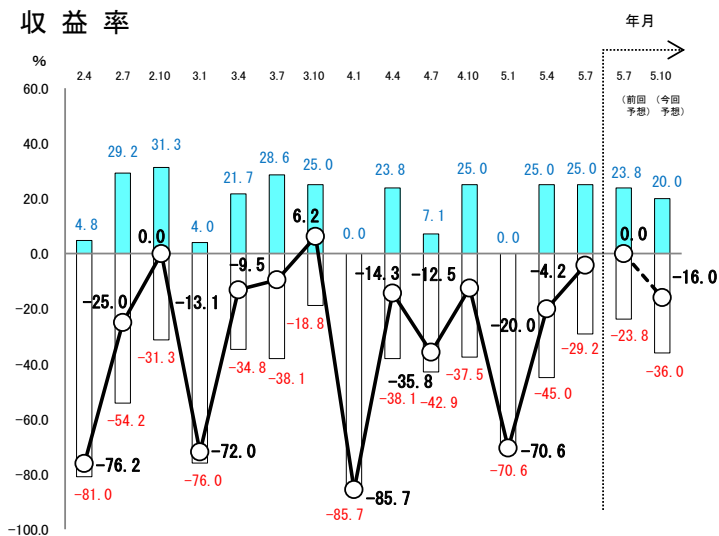
販売価格



資金繰り

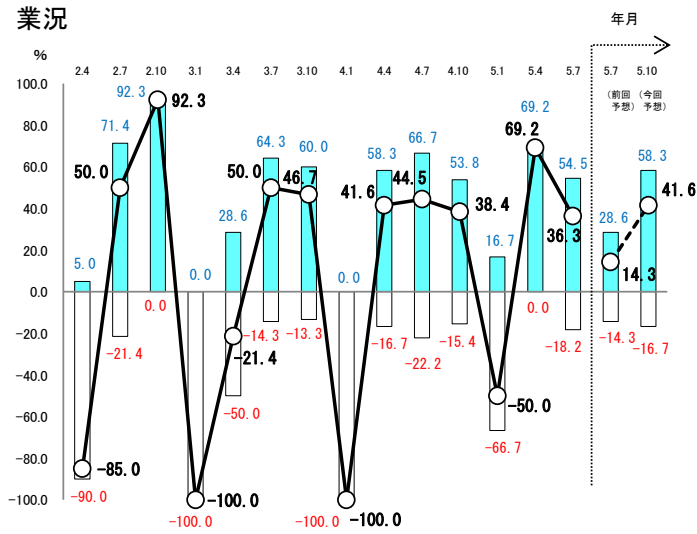


収益率

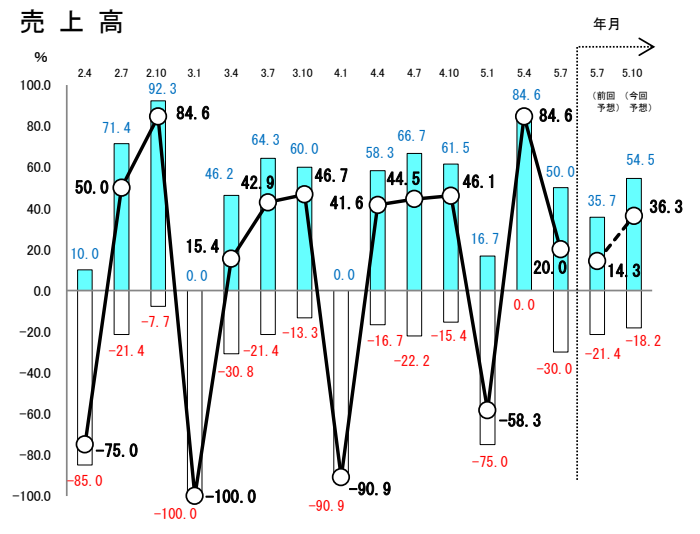


力 宿泊業

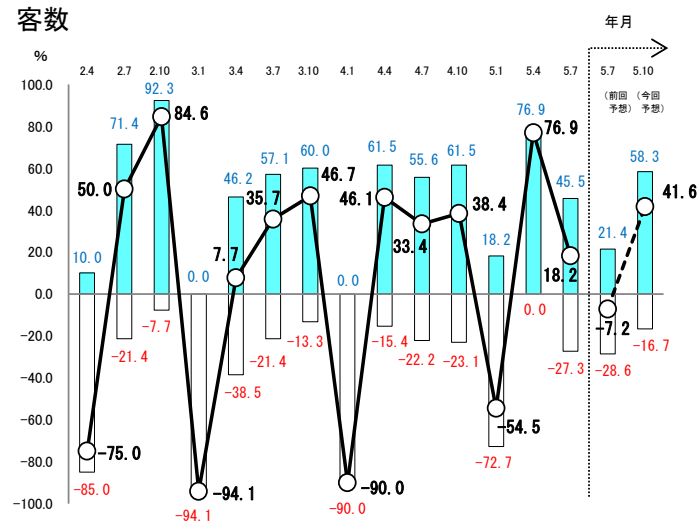
業況



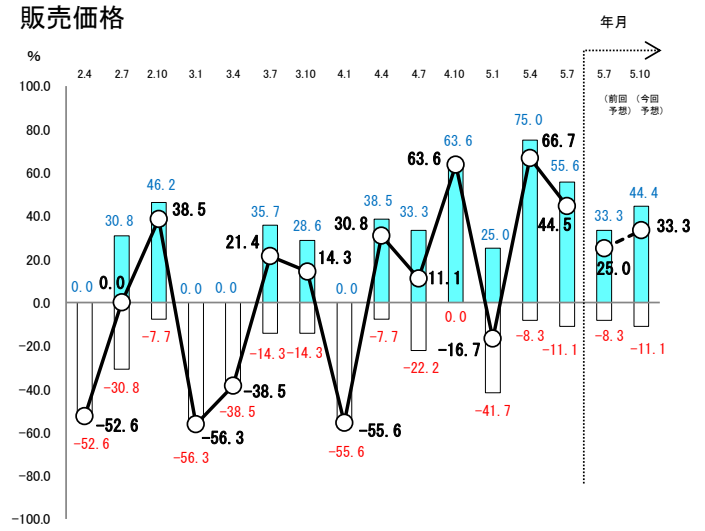
売上高



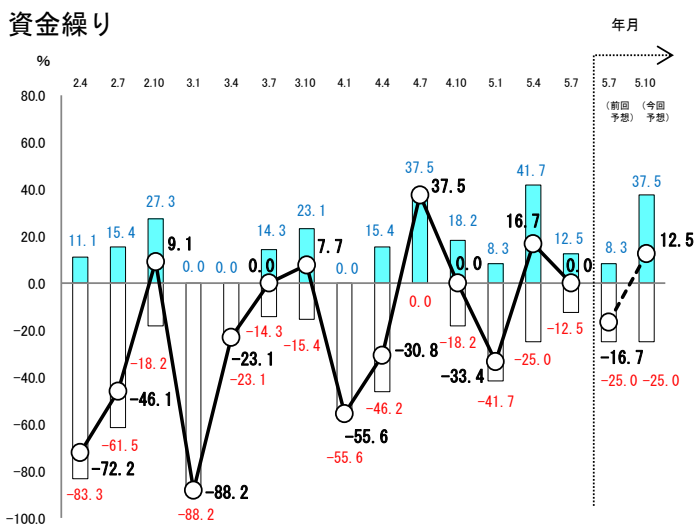
客数



販売価格



資金繰り



収益率

